

2024（令和6）年度

第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書



ジオパークの町 鹿追町



第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト（後期計画分）

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
1. 「その先へ」プロジェクト											
1	健康づくり	健（検）診内容の充実と 事後指導の充実	特定健診受診率（％）	48.3	52	44	85%	A	58	32	保健福祉課
			結果説明会出席率（％）	85.1	86	88	102%	A	89		
2	子育て支援	子育て世代の包括的支援	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合（％）	96	85	90	106%	A	100	42	保健福祉課
			子ども家庭センターを知っている妊婦の割合（％）	43	45	60	133%	A	50		
3	家庭教育	青少年の健全育成	親子で使用ルールを決めている児童・生徒の割合（％）	測定値なし	5	0	0%	Y	30	58	社会教育課
			挨拶の習慣が身についている児童・生徒数の割合（％）	測定値なし	20	0	0%	Y	80		
4	学習活動（少年・青年・成人・高齢者）	高齢者の生涯学習の推進	ヌプカウシ白寿大学生徒数（人）	40	42	41	98%	A	50	62	社会教育課
			ライフアカデミーマイスターに登録しているシニア層の人数（人）	10	12	9	75%	B	20		
5	農業（経営・基盤整備）	農業基盤整備事業の推進	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数（地区）	4	4	4	100%	A	4	74	農業振興課
			多面的機能支払交付金執行率（％）	100	100	100	100%	A	100		
6	農業（持続可能な農業）	バイオガспラントの有効活用・推進	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量（t）	176,398	181,000	173,707	96%	A	181,000	80	農業振興課
			メタン発酵過程で生産されるエネルギー（m3）	5,105,913	5,200,000	4,969,186	96%	A	5,200,000		
7	商工業	商工会経営改善・一般事業の推進	小規模事業者に対する相談・指導実施割合（％）	161	100	149	149%	A	100	84	商工観光課
			商工会員に対する相談・指導実施割合（％）	176	100	184	184%	A	100		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
8	商工業	町内企業への支援	町内商工業事業者数（商工会員数）（事業者）	158	165	157	95%	A	158	86	商工観光課
			商工会員への経営相談・巡回指導件数（件）	629	630	753	120%	A	630		
9	観光	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開	観光客入込数（人） （うち外国人数）	658,500 (3,713)	679,000 (3,100)	683,000 (3,010)	101%	A	872,000 (3,400)	90	商工観光課
			自然公園利用者数（人）	81,518	76,000	77,257	102%	A	82,000		
10	観光	長期（長時間）滞在への誘導	町内宿泊者数（人）	26,800	27,000	23,900	89%	B	30,000	90	商工観光課
			宿泊施設数（所）	10	10	10	100%	Y	12		
11	エネルギー	新たな再生可能エネルギーの有効活用	自営線ネットワークに係る視察受入件数（件/累計）	27	60	76	127%	A	120	94	企画課
			再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量（t/年）	251	363	365	101%	A	363		
12	住宅	活かされる、空き家など対策計画の策定検討	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者（件/年）	4	3	8	267%	A	3	106	企画課 建設水道課
			新規空き家バンク登録住宅件数（件/年）	0	0	3	100%	A	3		
13	情報通信	情報格差対策	スマホ教室の開催数（件/累計）	7	30	27	90%	A	60	122	企画課
			老人会などの各種会議体での啓発数（件/累計）	11	13	12	92%	A	52		
14	情報通信	デジタルツールの導入	業務効率化の為にデジタルツール導入数（種）	1	2	2	100%	A	3	122	総務課 企画課
			公共サービス向上の為にデジタルツール導入数（種）	3	7	7	100%	A	8		
15	瓜幕地域の振興	自然体験留学制度の充実	留学制度による親子留学者数（人）	11	10	7	70%	A	10	136	瓜幕支所
			留連協事業部による各種自然体験事業数（事業）	7	7	7	100%	A	7		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
16	財政運営	行財政改革の推進	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（千円）	△ 322,867	△ 500,000	△ 434,318	87%	A	△ 500,000	142	総務課
			企業版ふるさと納税寄附額（千円/累計）	4,600	20,000	7,700	39%	D	50,000		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
2.「魅力最大化」プロジェクト											
17	観光	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり	道の駅しかおい入込客数（人）	140,600	152,000	155,000	102%	A	165,400	90	商工観光課
			道の駅しかおいエリアでのイベント数（回）	0	12	11	92%	A	12		
18	ジオパーク	ジオパークの地域住民への浸透	とかち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数（人）	3,139	3,500	5,171	148%	A	3,500	92	ジオパーク推進課
			講座・ツアー等の受講者数（人）	728	775	881	114%	A	1,000		
19	農業（安心・安全な農業）	安心・安全な農畜産物の需要拡大	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数（回）	6	6	9	150%	A	6	78	農業振興課
			乳製品消費拡大PR回数（回）	7	7	9	129%	A	7		
20	学校教育	外国語教育の充実	高3CEFR-B 1 相当以上の生徒の割合（%）	測定値なし	30	15	50%	C	50	50	学校教育課
			英語学習への積極性（%）	測定値なし	85	85	100%	A	95		
21	学校教育	探求教育の充実	異なる意見への探求心指標（%）	測定値なし	75	70	93%	A	80	52	学校教育課
			自ら課題を発見し解決する力（%）	測定値なし	65	60	92%	A	75		
22	学校教育	イノベーションを担う人材育成	協働的な課題解決力（%）	測定値なし	90	96	107%	A	90	52	学校教育課
			主体的に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（%）	測定値なし	50	60	120%	A	70		
23	学校教育	学校段階間・学校と社会の接続推進	地域・社会貢献への意欲（%）	測定値なし	90	84	93%	A	90	54	学校教育課
			将来に向けた目標意識（%）	測定値なし	70	69	99%	A	75		
24	学校教育	主観的ウェルビーイングの向上	幸福感の実感（%）	測定値なし	95	92	97%	A	95	56	学校教育課
			学校生活の充実感（%）	測定値なし	65	63	97%	A	70		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
3. 「つながり」プロジェクト											
25	高齢者福祉	地域包括ケアシステムを 推進する体制の充実	地域包括支援センター・居宅支援事業所の 新規相談件数（件）	419	400	319	80%	B	460	46	保健福祉課
			医療介護福祉の機関との会議開催数 （回）	6	12	10	83%	A	12		
26	地域福祉	包括的な支援体制の整備	福祉重層的支援定例会数（回）	8	5	5	100%	A	12	48	保健福祉課
			相談支援件数（件）	5	10	8	80%	A	10		
27	学習活動（公 民館分館）	コミュニティ・スクール と地域学校協働活動の一 体的推進	地域学校協働活動実施数（回）	18	18	64	356%	A	20	64	社会教育課
			人材バンクを活用した事業実施数（回）	0	1	1	100%	A	7		
28	芸術文化	人材バンクの活用	人材バンクを活用した事業実施数（回）	2	3	2	67%	B	5	66	社会教育課
			ライフアカデミーマイスター登録者数 （人）	26	27	33	122%	A	30		
29	商工業	道の駅しかおい・うりま く、観光協会との連携	町外道の駅との連携イベントの実施回数 （回）	0	5	6	120%	A	5	84	商工観光課
			道の駅しかおい、うりまく入込数（人）	154,133	172,000	170,300	99%	A	187,000		
30	防災	防災意識の普及と防災体 制の充実強化	行政区等を対象とした防災訓練等の回数 （回）	5	10	4	40%	C	5	110	町民課
			避難所運営マニュアル等の改定（事業）	1	2	2	100%	A	2		
31	交流	国際姉妹都市との交流促 進	受入れホスト家庭数（戸）	318	334	332	99%	A	358	126	企画課
			国際交流事業に参加した鹿追町民の数 （人/年）	220	70	50	71%	B	100		
32	コミュニティ	町民の町政参加機会の拡 充	各種審議会委員などの無作為抽出選出件 数（件/年）	0	1	0	0%	D	1	128	企画課
			公募による会議などへの参加件数（件/ 年）	0	1	0	0%	D	1		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2024(R6)年度	実績値 2024(R6)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
33	コミュニティ	広報広聴活動の拡充	ふれあいトークへの参加人数（人）	56	150	36	24%	D	300	128	企画課
			鹿追お知らせメール登録件数（件）	1,663	2,000	2,395	120%	A	2,300		
34	コミュニティ	住民自治組織の育成	行政区支援事業への参加件数（件）	8	25	12	48%	C	35	128	企画課
			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数（回）	14	15	16	107%	A	20		

評価	全68指標のうち 各評価の数	割合	評価基準
A	53	77.9%	（目標に向けて）非常に効果があった
B	5	7.4%	（目標に向けて）概ね効果があった
C	3	4.4%	どちらとも言えない
D	4	5.9%	（目標に向けて）あまり効果的ではなかった
E	0	0.0%	（目標に向けて）効果的ではなかった
Y	3	4.4%	次年度以降実施

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 健康推進係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	健（検）診内容の充実と事後指導の充実
	施策の概要	健康診査や保健指導等による生活習慣病の発症・重症化予防に取り組み、健康増進への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	特定健診受診率（％）	-	-	48.3	58	特定健診を受けた方の割合
施策と指標の関連性	特定健診の受診率上昇することで、生活習慣病の予防・早期発見に繋がることから特定健診受診率を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	3,760	3,760	2,495	52	44	A	85%	集団健診のWEB予約開始
	2025	3,760	3,804		54				個別での受診しやすい体制を整備する。
	2026	3,760			56				健診受診率向上に向けて関係機関と受診勧奨方法について検討
	2027	3,760			58				健診受診率向上に向けて関係機関と受診勧奨方法について検討
単位	千円	千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
特定健診受診率向上を図り、生活習慣病の早期発見・早期治療に繋げる。	・生活習慣病予防や健診受診の必要性に関する情報を普及・啓発することで健康意識の向上・生活習慣改善を図る。 ・特定健診の受診率が向上し、生活習慣病の早期発見に繋げることが出来る。	・保健福祉課 ・関係医療機関 ・北海道・国保連合会 ・事業委託先

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別健診データ受領											
	・特定健診受診券送付（資料同封）	・集団健診					・集団健診		・集団健診		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	特定健診実績	目標からの達成度としてはAの評価となるが、特定健診の受診率は年々低下しており、受診率向上のための対策が必要となっている。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
より町民が受診しやすい体制を整え、受診率向上を図る。 また、病院と連携を図ることで、通院している方の情報連携を図る。	個別で健診を受けたり、情報提供してもらえる医療機関を増やしていく。	受診率低下につながっている要因など、受診者の傾向を分析し、より受けやすい体制づくりを検討する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 健康推進係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	健（検）診内容の充実と事後指導の充実
	施策の概要	健康診査や保健指導等による生活習慣病の発症・重症化予防に取り組み、健康増進への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	結果説明会出席率（％）	-	-	85.1	89	結果説明会に来所された方の割合
施策と指標の関連性	集団健診実施後、受診者全員を対象に実施している。受診者自身の生活習慣を見直し及び継続受診を促すことを目的とした本事業の出席率を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	89	89	89	86	88	A	102%	結果説明会の事後支援として、健康相談会の実施検討。
	2025	90	107		87				健康相談会を実施し、事後支援を充実させる。
	2026	90			88				健指導や健康教育等、事業の評価・見直しを行っていく
	2027	90			89				健指導や健康教育等、事業の評価・見直しを行っていく
単位	千円	千円	千円	千円	％	％			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
保健指導の充実を図ることで、生活習慣改善・早期治療に繋げる		・健診受診後に保健師・管理栄養士による結果説明・保健指導を行い、生活習慣の見直し及び継続受診を促すことで生活習慣病の発症予防・重症化予防を図る。 ・結果説明会の事後支援として、健康相談会の実施検討。								・保健福祉課 ・関係医療機関		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		集団健診の周知	・集団健診の実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施			健康相談会	・集団健診実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施 ・集団健診の周知	・集団健診実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			結果説明会実績			結果説明会については、多くの方が出席し、個別に指導を受ける機会となっている。引き続き、結果説明を受けるまでが検診であるという意識を持ってもらえるよう伝えていく。				
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
より効果のある指導をしていくため、結果説明会だけでなく、個別に指導できる機会を設けていく。				特定保健指導の方には、結果説明会後にも指導できる機会として、健康相談会を引き続き実施していく。				結果説明会の出席率だけでなく、医療費の分析等で健康状態を確認していく。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 健康推進係・子育て支援課 子育て支援係
-------	---------------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、こども家庭センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合(%)	98	100	96	100	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合
施策と指標の関連性	子育て世代への総合的な支援体制を構築し、支援体制への満足度を向上させたいため、この指標とした。					

					事業の点検			目標 達成率	内容
年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価			
評価総括表	2020	7,324	6,585	5,959	98	94	A	96%	子育て世代包括支援センター設置
	2021	4,500	-	-	98	90	A	92%	子育て世代包括支援センターについて広く周知
	2022	4,500	-	-	100	96	A	96%	親同士がつながれるような支援・サービスについての充実
	2023	4,500	-	-	100	82	A	82%	手厚い支援が必要な親子への支援の充実
	2024	-	-	-	85	90	A	106%	子育て世代から、子育て支援に対する意見を聞く場を設置
	2025	-	-		90				こども計画策定に伴うアンケートの実施
	2026	-			95				地域で子育てを見守るサポート体制の充実
	2027	-			100				地域で子育てを見守るサポート体制の充実
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
楽しく子育てするための、サポート体制の充実を図る。	・関係機関と連携し、親同士が交流を持てる場につないでいく。 ・子育てアンケートや日頃の親子との関わりの中から町の子育てサポートについての意見を聞き、必要なサポート体制を分析し検討する。	・保健福祉課 ・子育て支援課 ・教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子育てアンケートの実施											
子育て交流会			子育て交流会			子育て交流会	子育てサポート体制について関係機関で協議		子育て交流会		→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳幼児健診時のアンケート	既存の施設の中で遊び場を増やしたり、産後ケアの充実を図るなど、子育てに関する事業を充実させている。結果として、子育て支援の満足度は昨年よりも増加している。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2025年度、こども計画策定中でのアンケート調査もあるため、町民のニーズを把握できる機会としていく。	アンケート調査の結果を分析し、ニーズに対して町ができることを関係機関で検討していく。	計画策定に伴うアンケート調査で評価していくとともに、引き続き、実際の相談場面でも、詳しく確認していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 健康推進係・子育て支援課 子育て支援係
-------	---------------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、こども家庭センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	こども家庭センターを知っている妊婦の割合(%)	42.3	50	43	50	母子健康手帳交付時の段階で確認する、知っている妊婦の割合
施策と指標の関連性	早い段階から相談場所を知っていることで、心配事に対して早期に対応できることにつながるため、この指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	50	43	A	86%	若い世代への子育てに関する相談場所への周知
	2023	-	-	-	50	42	A	83%	こども家庭センターについて設置検討
	2024	-	-	-	45	60	A	133%	こども家庭センターについて広く周知
	2025	-	-	-	45				乳幼児健診・相談の体制についての見直し
	2026	-			50				関係機関と連携とネットワークを構築する
	2027	-			50				こどもに関わる切れ目のない支援体制を整備する
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
こども家庭センターを広く周知し、様々な相談に早期に対応できる。	・こども家庭センターについて、一般市民に向けて様々な媒体を通じて、広く周知する。 ・こども家庭センターの業務内容や連携体制について協議する。 ・高校生の健康教育時周知する。	・保健福祉課 ・子育て支援課 ・教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	広報での周知	ホームページ、アプリ等での周知					高校生の健康教育	パンフレット等の配布	関係機関で業務内容協議		→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	母子健康手帳交付時のアンケート	令和6年度よりこども家庭センターを開設し、広報活動や健康教育の場面などで広く周知を図ることで、認知されてきている。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
令和6年度よりこども家庭センターが開設され、より相談しやすい総合相談窓口としての機能や切れ目のない支援ができるよう、関係者で協議していく。	早期に相談できるよう、引き続き広く相談場所の周知を図る。こども家庭センターの業務内容を充実させるため、関係機関での業務内容の協議する場を設けていく。	こども計画のアンケートや、個別の支援から早期に相談できているかや、切れ目なく支援できているかなど評価していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	青少年の健全育成
	施策の概要	インターネット利用に関する「親子のルールづくり」など、家庭における適切な生活習慣の定着に向けた取り組みを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	親子で使用ルールを決めている児童・生徒の割合(%)	-	-	測定値なし	30	ルールを決めている児童・生徒の割合
施策と指標の関連性	ルールづくりを決めている数については施策の直接的な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	20	20	0	5	0	Y	0%	・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2025	20	20		10				・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2026	20			20				・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2027	20			30				・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	単位	千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
インターネット・スマートフォン等の使用ルールの定着	・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発	教育委員会社会教育課 鹿追町社会教育委員の会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発 アンケート	普及啓発 アンケート	普及啓発 アンケート 集計

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	学校を通してのアンケート調査	年間を通して効果的に普及啓発を実施する事が出来なかった。また、アンケートの実施にいたらなかった。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
年間を通して、児童・生徒向けの普及方法について検討する。	アンケートについて実施することが出来なかったため、2025年度に実施	学校などを通してアンケートを実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		社会教育課 社会教育係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	青少年の健全育成							
	施策の概要	インターネット利用に関する「親子のルールづくり」など、家庭における適切な生活習慣の定着に向けた取り組みを推進します。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2021年度)		後期 現状値 (2022年度)		目標値 (2027年度)		内容
		挨拶の習慣が身についている児童・生徒数の割合（％）	-	-	測定値なし		80		挨拶の習慣が身についている児童・生徒数の割合
施策と指標の関連性		挨拶については社会生活を行う上で大切なことから指標とした。							
評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	20	20	21	20	0	Y	0%	・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
	2025	20	21		40				・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
	2026	20			60				・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
2027	20			80				・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施	
単位		千円	千円	千円	％	％			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制		
すくすく運動の実施			・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施						教育委員会社会教育課 鹿追町社会教育委員の会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	あいさつ運動、読み聞かせ準備 普及啓発	あいさつ運動 読み聞かせ	あいさつ運動 読み聞かせ	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法		ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）				
Y		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			学校を通してのアンケート調査		あいさつ運動や読み聞かせ等は実施する事が出来たが、アンケートの実施には至らなかったため割合の把握までは至らなかった。				
Action		Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など									
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
継続的に事業を実施していく				実施時期について検討を行う				学校などを通してアンケートを実施する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	高齢者の生涯学習の推進
	施策の概要	高齢者学級「ヌブカウシ白寿大学」により、ニーズに応じた多様な学習・体験機会と生きがいを創出する取り組みを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ヌブカウシ白寿大学生徒数（人）	-	-	40	50	ヌブカウシ白寿大学生徒数
施策と指標の関連性	学生の数が増えることにより、多くの人が学びの機会を得ることが出来る事から指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	223	223	125	42	41	A	98%	・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2025	223	223		45				・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2026	223			48				・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2027	223			50				・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
体験活動、講座などの学習や実技活動など各々の教養や技術の向上	・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施	教育委員会社会教育課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	開級式	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	修了式

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	学生数実績	・生徒数については前年度から2名増となった、事業についてはおおむね計画通り実施する事が出来た。 ・目標達成率が8割以上のためAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
教養や技術の向上のため、事業内容について検討していく	実行するうえで改善点があれば見直していく	学生数の実績値により把握していく

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		社会教育課 社会教育係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	高齢者の生涯学習の推進							
	施策の概要	多様な技術や経験を有するシニア層が活躍できる環境の整備を図ります。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
		ライフアカデミーマイスターに登録しているシニア層の人数（人）	-	-	10	20	ライフアカデミーマイスターに登録しているシニア層の人数		
施策と指標の関連性		登録者数が増えることにより、活躍や活動の幅が広がる事から指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	12	9	B	75%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2025	46	46		14				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2026	46			16				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2027	46			20				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
単位	千円	千円	千円	人	人				

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
ライフアカデミーマイスター制度の活用			・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用							教育委員会社会教育課	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集
周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知
活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
B		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			登録者数実績			・登録者増に向けた効果的な取組が実施できなかった。 ・目標達成率が6割以上のためBとした。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
効果的に実施できていないことから方法について検討していく				より良いスケジュールが無いが検討を行う				登録者実績数により把握していく			

担当課・係	農業振興課 耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数（地区/年）	5	4	4	4	国営・道営事業による農業基盤整備事業事業実施地区数
施策と指標の関連性	施策として行う農業基盤整備事業を実施した数を指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	500,000	320,000	216,000	5	5	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 北瓜幕地区 ・道営草地面産基盤整備事業 上崎内地区
	2021	500,000	298,200	240,186	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 北瓜幕地区
	2022	300,000	315,000	224,800	3	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区
	2023	300,000	290,000	150,500	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区
	2024	500,000	446,000	390,000	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区
	2025	500,000	300,200		4				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
	2026	600,000			5				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 中越谷地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
	2027	800,000			5				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 中越谷地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
単位	千円	千円	千円	千円	地区	地区			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
農業農村整備事業の計画的な推進	・国営かんがい排水事業 沓川地区 ・道営担い手畑給事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑給事業 美登高台地区 ・道営担い手畑給事業 沓川地区	・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札	→	調査及び工 事実施									→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実績	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり整備が進んでいる。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
当初の事業計画通り整備が進んでおり、変更点はないが、地域要望に応じて引き続き事業実施について検討する。	変更点はないが、悪天候や社会情勢等による変更が生じた場合は、関係受益者と調整を図る。	関係機関と連携し、受益者と調整を図りながら円滑に整備を進める。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	多面的機能支払交付金執行率（％）	100	100	100	100	多面的機能支払交付金執行率
施策と指標の関連性	環境保全活動として実施している多面的機能支払交付金事業の執行率を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	100,000	101,405	101,369	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2021	100,000	101,369	101,342	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2022	100,000	101,342	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2023	100,000	101,323	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2024	100,000	101,297	101,296	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2025	100,000	101,294		100				多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2026	100,000			100				多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
	2027	100,000			100				多面的機能支払交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
単位	千円	千円	千円	千円	％	％			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
環境保全活動を継続的に実施	・多面的機能支払交付金事業	・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多面的機能支払交付金事業による環境保全活動											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実績報告書	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり活動が実施されており、本事業に対する理解や評価も良い。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
当初の事業計画通り活動が実施されており、変更点はないが、引き続き本事業を計画的に実施する。	変更点はないが、悪天候や地域情勢等による変更が生じた場合は、活動組織と調整を図る。	実績報告書等により実施状況を確認し、指導・助言を行う。

担当課・係		農業振興課 環境保全センター係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進							
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T 終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	後期 現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	内容		
		家畜排せつ物等のバイオマス資源の活用量 (t/年)	152,500	181,000	176,398	181,000	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量		
施策と指標の関連性		バイオガスプラントの有効活用を図る上で原料の安定確保が重要であるため、この指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価	目標達成率	内容
	2020	300,000	448,177	287,161	160,000	161,534	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。マスタープランの策定。
	2021	300,000	285,593	284,316	167,500	161,652	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2022	300,000	343,559	346,076	175,000	176,398	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2023	300,000	329,292	342,595	181,000	173,563	A	96%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2024	300,000	408,638	399,954	181,000	173,707	A	96%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2025	300,000	346,862		181,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2026	300,000			181,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2027	300,000			181,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	単位	千円	千円	千円	t	t			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討。			・ 鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・ マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 ・ しかおい水素ファーム事業の推進							・ 町長、副町長 ・ 農業振興課 ・ 農業関係機関	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・ 未整備地区バイオガスプラントの検討 ・ しかおい水素ファーム事業の推進											
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			バイオマス施設の実受 入量			バイオガスプラントの安定稼働により、家畜排せつ物等の廃棄物がバイオマス資源として有効活用された。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)			
既存施設については、老朽化等により設備等の更新・修繕を行い、安定稼働できる体制を整える。 また、未整備地区へのバイオガスプラントについては、施設規模や事業費の確保等を検討する。				安定稼働を図るため、設備等の更新や修繕の必要性を検討する。 未整備地区へのバイオガスプラントについては、施設規模や事業費等を調査する。				施設や設備のトラブルを未然に防止するため、日々のチェック体制を徹底する。			

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	メタン発酵過程で生産されるエネルギー (m3/年)	4,994,000	5,200,000	5,105,913	5,200,000	メタン発酵過程で生産されるバイオガス製造量
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上でバイオマスエネルギーの有効活用が重要であるため、この指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	5,200,000	5,105,913	A	98%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2023	-	-	-	5,200,000	5,029,646	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2024	-	-	-	5,200,000	4,969,186	A	96%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2025	-	-	-	5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2026	-	-	-	5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2027	-	-	-	5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
単位		千円	千円	千円	m3	m3			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	・ 鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・ マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 ・ しかおい水素ファーム事業の推進	・ 町長、副町長 ・ 農業振興課 ・ 農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・ 未整備地区バイオガスプラントの検討 ・ しかおい水素ファーム事業の推進											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	メタン発酵によるバイオガス製造量	ふん尿の適正処理施設としての役割を果たしており、安定したメタン発酵及び原料受入体制の維持により、バイオガス製造量も計画値に近い水準で安定して推移している。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
安定的なバイオガス生産を図るため、発酵槽内の温度や硫化水素濃度、VFAの状況を定期的に確認する。	安定的なバイオガス利用を図るため、発電機や水素施設の定期点検を実施する。	季節ごとのバイオガス利用量等のデータを収集し、効率的なバイオガス利用を推進する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	商工会経営改善・一般事業の推進
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	小規模事業者に対する相談・指導実施割合(%)	-	-	161	100	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	経営改善事業として金融・税務・労務をはじめ経営全般をサポートするため、巡回・窓口での小規模事業者（商工会員外を含む）からの相談・指導の実施割合を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	32,225	34,259	28,185	100	149	A	149%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429		100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む	・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。	鹿追町 鹿追町商工会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会各種補助					途中経過確認					利子補給実施	事業評価委員会

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	小規模事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、経営指導相談を145事業者に対して217回実施しました。目標数値100%に対し、149%のため結果をAとしました。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組む	途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やす	実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	商工会経営改善・一般事業の推進
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	商工会員に対する相談・指導実施割合(%)	-	-	176	100	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	経営改善事業として金融・税務・労務をはじめ経営全般をサポートするため、巡回・窓口での商工会員からの相談・指導の実施割合を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	32,225	34,259	28,185	100	184	A	184%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429		100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む			・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。							鹿追町 鹿追町商工会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会の巡回は毎月実施					途中経過確認					実施状況聞き取り・検証	
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)				
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				商工会の総会議案で確認する。		事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、経営指導相談を143事業者に対して264回実施しました。目標数値100%に対し、184%のため結果をAとしました。				
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)						
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組む	途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やす				実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町内商工業事業者数 (商工会員数)(事業者)	169	165	158	158	町内商工業事業者数(商工会員数)
施策と指標の関連性	コロナ禍で変容した価値観やニーズ、原材料の高騰や物価高による取引価格の転嫁、事業者の高齢化などによる事業継続が厳しい中、事業者の経営、事業の発展を支援する施策などにより、会員数の維持を目標とし直接的な指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	27,990	27,990	34,769	165	164	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2021	32,255	39,693	27,372	165	162	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2022	32,255	34,010	29,364	165	158	A	96%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2023	32,255	33,668	35,096	165	154	A	93%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2024	32,225	34,259	28,185	165	157	A	95%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429		165				・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225			165				・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			158				・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	事業者	事業者			

2024 (R6) 年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標												
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制			
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組めます			・商工会による経営改善普及事業等補助事業、商工会一般事業、近代化推進活動事業への補助事業を実施することにより町内事業者への経営支援等を推進する ・商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援することで経営の安定化を推進する							鹿追町 鹿追町商工会			
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
商工会各種補助				途中計画確認						利子補給実施	事業評価委員会		
Check	「Do」の結果・チェックなど												
結 果			評価参考基準			実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)					
A			A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			商工会の総会議案で確認する。		R5年は退会、廃業により、会員数は微減したが、R6年度は起業者、事業承継による新規入会会員数が微増しました。補助金紹介や新規、事業承継等の相談、指導の実施により、商工会と事業者が一体となり、支援体制の強化を図る事で新規入会、会員継続へと繋げることができたため、会員数の微増に繋がったため。					
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など												
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)					
商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援し、国や道の補助金や支援策を商工会と共有し商工会員へ周知していく。				8月に途中経過確認を追加する				実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	商工会員への経営相談・巡回指導件数（件/年）	617	630	629	630	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	原材料の高騰や物価高騰による物価上昇などの情勢変化により事業者が受ける影響は多方面にわたる。事業者に寄り添ったきめ細やかな対策、対応が必要となるため、経営相談、巡回指導の件数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	32,225	34,010	29,364	630	629	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2023	32,225	33,668	35,096	630	754	A	119%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2024	32,225	34,259	28,185	630	753	A	120%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429		630				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225			630				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			630				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	件	件			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標											
具体的な方針			具体的な事業内容								実施体制	
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む			・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。								鹿追町 鹿追町商工会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
商工会の巡回は毎月実施					途中経過確認					実施状況聞き取り・検証		
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)				
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				商工会の総会議案で確認する。			事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、巡回指導、窓口相談を前年度比99%と前年同等数の753回実施したためAとした。				
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 (事業方針や内容など)			Doの変更点 (スケジュールなど)					Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組む			途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やす					実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	観光客入込数 (うち外国人数) (人/年)	742,000 (4,007)	872,000 (7,000)	658,500 (3,713)	872,000 (3,400)	観光客入込数
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により、増加させる観光客入込数を指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	26,276	26,027	16,903	792,000 (5,000)	598,700 (6)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2021	24,523	26,630	25,900	822,000 (6,000)	590,200 (0)	C	72%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2022	24,523	24,223	31,423	842,000 (6,500)	658,500 (3,713)	C	78%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2023	24,523	30,005	37,339	872,000 (7,000)	659,400 (3,012)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2024	23,900	23,875	23,113	679,000 (3,100)	683,000 (3,010)	A	101%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2025	23,900	24,266		699,000 (3,200)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2026	23,900			719,000 (3,300)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2027	23,900			740,000 (3,400)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	夏の伝統イベント「白蛇姫まつり」や冬の北海道を代表するイベント「しかりべつ湖コタン」をはじめ、然別湖畔園地公園を活用した小規模イベントを定期的に実施し、湖畔及び鹿追町内への観光客増加を目指す。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業 計画	イベント 実施	イベント 実施	イベント 実施	イベント 実施	イベント 実施			イベント 実施	イベント 実施	検証

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内事業者・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。	本年度の観光入込客数については、プロモーション活動や各種イベントの実施が奏功し、目標を達成することができた。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
事業実施にあたっては、より効果的な方法を検討し、取組の重点化と柔軟な対応を図ることとで、成果の向上を目指す。	国や北海道の各種支援策の情報収集を積極的に 行い、観光協会等の関係団体や町内事業者と ともに、その時々情勢に合わせ事業を実施す る。	観光客の入込数を目標値・実績値とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

		担当課・係	商工観光課 観光係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開							
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
			現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)			
		自然公園利用者数 (人/年)	45,282	90,000	81,518	82,000	自然公園利用者数		
施策と指標の関連性		国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる自然公園利用者数を指標とした。							
評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	26,630	25,900	31,423	60,000	81,518	A	136%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2023	24,223	30,005	37,339	90,000	75,566	A	84%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2024	23,900	23,875	23,113	76,000	77,257	A	102%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2025	23,900	24,266		78,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2026	23,900			80,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2027	23,900			82,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
国立公園内だけでなく町内全域に誘客できるような事業の展開をしている			鹿追町観光協会等の関係団体と連携し、町内で集客につながる様々なイベント等事業を展開し、然別湖等国立公園への誘客を図るとともに、湖畔との往来中に町内飲食、物販等の消費行動へつなぐ機会を増加させる。							鹿追町 鹿追町観光協会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	検証
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				自然公園内キャンプ場・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。		本年度の観光入込客数については、プロモーション活動や各種イベントの実施が奏功し、目標を達成することができた。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)		Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)					
自然公園の利用促進を図るため、地域資源を活用した魅力的な体験コンテンツの企画・実施や情報発信を行い、来訪者の増加と満足度向上を目指す。あわせて、利便性や安全性に配慮した受入環境の整備にも取り組むことで、継続的な利用促進につなげる。		自然公園の利用実態を把握するための調査を行い、その結果をもとに情報発信や受入環境の検討を進める。必要に応じて利用者ニーズに即した改善を行い、持続的な利用促進につなげる。				自然公園利用者数を目標値・実績値とする。					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	長期（長時間）滞在への誘導
	施策の概要	各種メディアによる媒体を活用して鹿追での滞在の魅力を提案する広告を行うとともに、SNSなどのコミュニケーションツールを活用して、本町に対して感情的なつながりを強めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町内宿泊者数（人/年）	-	-	26,800	30,000	町内宿泊者数
施策と指標の関連性	長期滞在の基本となる宿泊者の増加が目標となることから直接的な宿泊者数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	600	600	622	27,000	23,900	B	89%	SNS等での情報発信
	2025	600	600		28,000				SNS等での情報発信
	2026	600			29,000				SNS等での情報発信
	2027	600			30,000				SNS等での情報発信
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・滞在型観光の魅力を訴求する広告展開 ・SNSを活用した感情的なつながりの醸成	・雑誌・旅行ガイド等での「体験型滞在」特集広告 ・Instagram・TikTok等での映像発信 ・SNSフォトコンテスト開催	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間プロモーション計画策定	SNSフォトコンテスト開催		夏の体験型コンテンツ発信（キャンプ・乗馬・湖畔特集）		秋向け滞在提案広告展開			冬向け滞在提案広告展開			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内事業者・施設等からの報告される宿泊数の積み上げによる。	フォトコンテストの開催やイベントのランディングページを作成し、長期滞在の促進を図った。目標値の8割を達成しており、B評価とした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点（事業方針や内容など）	Doの変更点（スケジュールなど）	Checkの変更点（チェックの体制・方法など）
滞在意欲を高めるための情報発信や参加型の取り組みを通じて、地域への関心を喚起し、長期的な来訪につなげることを目指す。	年間を通じて段階的に情報発信を行い、季節や観光動向に応じてタイミングを見極めた参加型の取り組みを実施する。ピーク期には重点的な露出を図り、オフシーズンには関心を維持するための工夫を行う。	町内宿泊客数を目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	長期（長時間）滞在への誘導
	施策の概要	各種メディアによる媒体を活用して鹿追での滞在の魅力を提案する広告を行うとともに、SNSなどのコミュニケーションツールを活用して、本町に対して感情的なつながりを強めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	宿泊施設数（所）	-	-	10	12	宿泊施設数（所）
施策と指標の関連性	宿泊者の受け皿として多様な宿泊施設が必要であることから宿泊施設数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	10	600	622	10	10	Y	100%	宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2025	10	600		10				宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2026	11			11				宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2027	12			12				宿泊施設数増に向けての施策の実施
単位		千円	千円	千円	所	所			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域資源を活用した魅力ある宿泊コンテンツの開発や、滞在ニーズに対応した受入環境の整備を図るとともに、効果的な情報発信や連携強化を通じて宿泊需要の創出を目指す。	町内宿泊者数の増加に向けて、宿泊ニーズや旅行動向に関する調査を実施し、今後の施策立案に向けた基礎資料を整備した。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題整理と調査方針の検討			統計資料等による宿泊動向の調査			他地域の先進事例の収集・整理			次年度施策に向けた方向性の検討と計画案の作成		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内有料宿泊施設を把握する。	町内宿泊者数の増加に向けた本格的な施策実施には至らず、調査研究の段階にとどまった。そのため、具体的な成果は見られず、評価としては今後の展開に向けた準備段階と位置付ける。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
町内への宿泊需要を喚起することを目的に、宿泊動向や旅行市場の変化を把握し、地域の強みを活かした効果的な施策の検討に向けた基礎的調査を行う。	他地域の事例や市場動向を整理するなどの調査研究を進めることを検討し、年度末には次年度に向けた施策案の取りまとめを目指す	宿泊施設数を目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	自営線ネットワークに係る視察受入件数(件)	10	40 (前期累計)	27	120 (全体累計)	自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確に案内する。
施策と指標の関連性	自営線ネットワークの主たる目的のひとつに「他自治体等への波及（モデル）」を掲げており、視察を受け入れることで波及実績につながると考えたため。					

					事業の点検			目標 達成率	内容
年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価			
評価 総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	8,021	2,882	2,585	20	27	A	135%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2023	8,021	3,554	3,410	40	56	A	140%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2024	0	0	0	60	76	A	127%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2025	0	0		80				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2026	0			100				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2027	0			120				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	単位	千円	千円	千円	件	件			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確にわかりやすく案内する。	主にデジタルサイネージ、西サイト、エネルギー棟をフィールドに、自営線ネットワークの概要、効果、整備するにあたっての留意すべき事項などについて案内。	・企画課 ・自営線ネットワーク施設担当課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜、視察受け入れ											→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	視察記録	すべての依頼に対応し、脱炭素先行地域を目指す自治体や脱炭素に取組む企業などに対して、効果や課題について正確に案内を行った。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
視察者が確認したい内容がより具体的になってきていることを踏まえ、情報や資料の更新を欠かさず行い、引き続き丁寧且つきめ細やかに対応していく。	引き続き、年間を通じてできる限り柔軟に対応していく。	引き続き、視察の記録を進めるとともに、ニーズを把握しながら適切に対応していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

		担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用							
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
		再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量（t/年）	-	363	251	363	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量		
施策と指標の関連性		再生可能エネルギーの有効活用の主たる理由がCO2削減（地球温暖化対策）のため。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	201,233	200,452	198,005	121	107	A	88%	自営線ネットワーク整備事業完工本格運用12月頃～
	2021	8,021	7,111	6,690	363	303	A	83%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
	2022	8,021	2,882	2,585	363	251	B	69%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
	2023	8,021	3,554	3,410	363	203	C	56%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
	2024	3,500	2,907	2,977	363	365	A	101%	性能が最大限発揮されるよう保安と維持管理を適切に実施
	2025	3,500	3,369		363				性能が最大限発揮されるよう保安と維持管理を適切に実施
	2026	3,500			363				性能が最大限発揮されるよう保安と維持管理を適切に実施
	2027	3,500			363				性能が最大限発揮されるよう保安と維持管理を適切に実施
単位		千円	千円	千円	t	t			

Plan		関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
自営線ネットワークの適切な運用管理			・電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、法定年次点検を実施し、適切な運用管理を徹底する。 ・CEMSから得られる情報を元に省エネルギーを推進。							・企画課 ・自営線ネットワーク施設担当課		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
適正な運用・管理											→	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				CEMS帳票により自動算出 (帳票出力)			電気主任技術者による毎日の点検などを徹底し、未然に事故を防止することにより性能の最大化を図った。また、気候条件にも恵まれたため、想定よりも太陽光発電の発電量が増加した。			
Action		Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)			Do の変更点 (スケジュールなど)					Check の変更点 (チェックの体制・方法など)				
整備から4年が経過しており、従来以上に各種機器の経年劣化に注意を払いながら、日々の点検業務を着実に実施する。			継続的な点検を実施し、運用管理の徹底を図るとともに、CEMSから得られるデータを活用して省エネルギーを推進する。					電気保安業務に関する日報、月次点検および年次点検の報告書を引き続き確認し、CEMS帳票などから得られるデータを活用して効果を算出する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		企画課 企画係 建設水道課 建築係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	活かされる、空き家など対策計画の策定検討							
	施策の概要	住宅施策や廃屋の解体制度、空き家・空き地バンク制度など既存の施策を推進しつつ、総合的な空き家対策や中古住宅施策を検討します。							
関係指標	指標名	前期 現状値 (2018年度)	前期 目標値 (2023年度)	後期 現状値 (2022年度)	後期 目標値 (2027年度)	内容			
	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者(件/年)	-	-	4	3	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者(件/年)			
施策と指標の関連性		中古住宅取得者数を把握可能な数値のため。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標達成率	内容
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	6,094	6,094	9,258	3	8	A	267%	・空き家データベースの作成 ・空家対策会議の開催 ・次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2025	8,100	9,598		3				・空き家データベースを踏まえた対策の検討 ・新たな空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2026	8,100			3				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
	2027	1,500			3				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
	単位	千円	千円	千円	件	件			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
総合的な空き家対策の推進			・地域活性化起業人と連携した空き家データベースの作成 ・定期的な総合的な空家対策会議の開催 ・次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討							総合的な空家対策会議 地域活性化起業人	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空家対策会議①		空家対策会議②	地域活性化起業人との協定締結	空家対策会議③	空家データベース作成	空家対策会議④ 次年度施策検討	空家データベース作成	空家対策会議⑤ 次年度施策予算要求	空家データベース作成	空家データベース作成 空家対策会議⑥	空家データベース完成 空家対策会議⑦
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				台帳で整理			町が総合的な空家対策に取り組んでいることを広報誌や新聞記事等で周囲を行ったことや、中古住宅取得の助成制度の拡充を行ったことで、中古住宅の流通促進につながったと思われる。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)			
令和6年度実施した空家データベースをもとに、所有者アンケート等で所有者にアプローチを図るとともに、空家相談会の定期的な実施、住生活基本計画とも連動した空家対策に係る支援制度について検討を図りたい。				・空家データベースをもとにした、所有者アンケート等で所有者にアプローチの実施 ・住生活基本計画策定に向けた会議への出席と、計画策定と連動した空家対策に係る支援支援制度の検討				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

		担当課・係	企画課 企画係 建設水道課 建築係								
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト									
	施策	活かされる、空き家など対策計画の策定検討									
	施策の概要	住宅施策や廃屋の解体制度、空き家・空き地バンク制度など既存の施策を推進しつつ、総合的な空き家対策や中古住宅施策を検討します。									
関係指標		指標名	前期 現状値 (2021年度)		後期 目標値 (2023年度)		現状値 (2022年度)		目標値 (2027年度)		内容
		新規空き家バンク登録住宅件数（件/年）	-	-	0	3	新規空き家バンク登録住宅件数（件/年）				
施策と指標の関連性		把握が可能な空家対策事業の直接的な成果となる指標のため									
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標達成率	内容		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2024	6,094	6,094	9,258	0	3	A	100%	・ 空き家データベースの作成 ・ 空家対策会議の開催 ・ 次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討		
	2025	8,100	9,598		1				・ 空き家データベースを踏まえた対策の検討 ・ 新たな空き家対策及び中古住宅施策の検討		
	2026	8,100			2				・ 新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施		
	2027	1,500			3				・ 新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施		
	単位	千円	千円	千円	件	件					

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
総合的な空き家対策の推進			・地域活性化起業人と連携した空き家データベースの作成 ・定期的な総合的な空家対策会議の開催 ・次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討							総合的な空家対策会議 地域活性化起業人	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空家対策会議①		空家対策会議②	地域活性化起業人との協定締結	空家対策会議③	空家データベース作成	空家対策会議④ 次年度施策検討	空家データベース作成	空家対策会議⑤ 次年度施策予算要求	空家データベース作成	空家データベース作成 空家対策会議⑥	空家データベース完成 空家対策会議⑦
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				台帳で整理			町が総合的な空家対策に取り組んでいることを広報誌や新聞記事等で周囲を行ったことや、中古住宅取得の助成制度の拡充を行ったことで、空き家バンク登録の増加につながったと思われる。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Planの変更点 (事業方針や内容など)			Doの変更点 (スケジュールなど)					Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)			
令和6年度実施した空家データベースをもとに、所有者アンケート等で所有者にアプローチを図るとともに、空家相談会の定期的な実施、住生活基本計画とも連動した空家対策に係る支援制度について検討を図りたい。			・空家データベースをもとにした、所有者アンケート等で所有者にアプローチの実施 ・住生活基本計画策定に向けた会議への出席と、計画策定と連動した空家対策に係る支援支援制度の検討					チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	情報格差対策
	施策の概要	町としてデジタルを活用したサービスの提供を進めていく計画だが、デジタルサービスの利用ができず置き去りにされてしまう人を少しでも減らし、利用できる人とできない人の間に生じる差（情報格差）を解消する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	スマホ教室の開催数（回）	5	20 (前期累計)	7	60 (全体累計)	事業者と連携した「スマホよろず相談会（教室）」の開催回数
施策と指標の関連性	スマホ教室は、主に高齢者を対象としており、「スマホを持っていない」「スマホの使い方がわからない」方に対して開催している。継続して安定的に同教室を開催することで、情報格差の是正に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	10	7	B	70%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2023	0	19	18	20	19	A	95%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2024	0	0	0	30	27	A	90%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2025	0	0		40				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2026	0			50				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2027	0			60				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域住民の情報格差の解消	誰でも参加可能なスマホ教室を開催し、スマホの活用支援をきめ細やかに行う。	・企画課 ・事業者

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜スマホ教室を開催。											▶

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実績	9月から翌年3月にかけて、町民ホール及びウリマックホールにて午前・午後の開催を通じて実施し、ニーズに適応しながら進めることができた。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
情報格差の解消を引き続き主要な方針としつつ、個別相談ニーズの高まりに対応するため、常設型の相談窓口の設置に向けた検討を進める。	常設型の個別相談窓口を設置を検討し、可能な限り時間や場所の制約を解消する。	個別相談窓口へ移行した後も、継続的に実績を記録し、ニーズを把握しながら適切に対応していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	情報格差対策
	施策の概要	町としてデジタルを活用したサービスの提供を進めていく計画だが、デジタルサービスの利用ができず置き去りにされてしまう人を少しでも減らし、利用できる人とできない人の間に生じる差（情報格差）を解消する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	老人会などの各種会議体での啓発数（回）	-	-	11	52 (後期累計)	職員が出向き、情報格差対策に資する情報を啓発する数。
施策と指標の関連性	情報格差対策の啓発として、老人会や行政区会議などに出向き、町全域に整備された光回線の利用やスマホ教室の参加、mishikaなどの利用促進を図っている。継続して安定的に啓発をしていくことで、情報格差の是正に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	0	0	0	13	12	A	92%	高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2025	0	0		26				高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2026	0			39				高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2027	0			52				高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域住民の情報格差の解消	誰でも参加可能なスマホ教室等の開催の周知をして、情報格差の解消につながる情報発信をする。	・企画課 ・老人会など

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜、情報格差対策に資する情報を発信。												

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	参加実績	老人会や行政区を訪問し、スマホ教室の開催や町公式アプリの啓発活動を実施した。その取組みの結果、スマホ教室への参加者が増加するとともに、町公式アプリのインストールが促進され、情報格差の解消に寄与することができた。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
引き続き、情報格差の解消に向けて啓発活動に徹底して取り組む。	引き続き、社会福祉協議会、保健福祉課等と連携しながら、年間を通して普及活動に努めていく。	引き続き、実績を記録しながら、ニーズを把握して対応していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 総務係 企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	-------------------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	デジタルツールの導入
	施策の概要	デジタル技術を活用し、本町の目指す姿を実現するため「利用者のニーズに合ったサービス」「デジタルによる地域活性化」「行政運営の効率化・生産性の向上」の3つの視点を視野に入れ、業務の効率化を図り、行政サービスの質の維持・発展を目指す。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	業務効率化のためのデジタルツール導入数(種)	-	-	1	3 (累計)	業務効率化・生産性の向上に資するデジタルツールの導入数
施策と指標の関連性	デジタルツール導入の主たる目的は業務効率化であり、検討に当たっては、有識者であるデジタル人材を中心に全課の課題を洗い出した上で費用対効果の高いデジタルツールの導入について合意形成(理事者)を図っている。提案のあったデジタルツールを着実に導入することで、業務効率化に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	3,315	3,315	2,781	2	2	A	100%	議事録作成システムの導入
	2025	0	713		2				電子契約システムの導入、ペーパーレスに係るシステムの導入検討
	2026	10,000			3				その他業務効率化・生産性の向上に資するデジタルツールの導入検討
	2027	0			3				その他業務効率化・生産性の向上に資するデジタルツールの導入検討
単位	千円	千円	千円	千円	種	種			

2024(R6)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan		関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
議事録作成システムの導入			議会や各種会議において作成している議事録をシステムにより文字起こし・編集可能となるツールを運用フローも踏まえ比較検討し、導入する。							総務課 鹿追町DX推進本部 (議事録作成システムワーキンググループ)		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入契約	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				導入実績 ①ミニカンジョ円滑化 (logoチャット) …導入済み ②議事録作成システム ③庶務管理システム		ワーキンググループでの比較検討を経て、2024年11月に議事録作成システムを導入した。				
Action		Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)			Doの変更点 (スケジュールなど)					Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
電子契約システムの導入に向けた検討・準備に加え、文書管理システムや電子決済システムなどその他のペーパーレスに係るシステムについても検討する。			ペーパーレスに係るシステムについては、ワーキンググループで導入検討を実施していく。電子契約システムについては令和8年1月からの運用に向け検討・準備を進める。					庶務管理システム含め、引き続き業務効率化・生産性の向上に資すると考えられるツールについては追加的に検討を行う。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 総務係 企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	-------------------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	デジタルツールの導入
	施策の概要	デジタル技術を活用し、本町の目指す姿を実現するため「利用者のニーズに合ったサービス」「デジタルによる地域活性化」「行政運営の効率化・生産性の向上」の3つの視点を視野に入れ、業務の効率化を図り、行政サービスの質の維持・発展を目指す。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	公共サービス向上のためのデジタルツール導入数(種)	-	-	3	8 (累計)	行政サービスの質向上に資するデジタルツールの導入数
施策と指標の関連性	デジタルツール導入の目的のひとつとして、公共サービスの向上を掲げており、検討に当たっては、有識者であるデジタル人材を中心に費用対効果の高いデジタルツールの導入について合意形成(理事者)を図っている。提案のあったデジタルツールを着実に導入することで、公共サービスの向上に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	9,449	9,449	9,449	7	7	A	100%	・LINE情報発信ツール ・電子申請 ・施設予約 ・書かない窓口 の導入
	2025	0	11,449		7				図書館システムの導入
	2026	10,000			8				その他行政サービスの質向上に資するデジタルツールの導入検討
	2027	0			8				その他行政サービスの質向上に資するデジタルツールの導入検討
単位	千円	千円	千円	千円	種	種			

2024(R6)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・LINE情報発信ツール ・電子申請 ・施設予約 ・書かない窓口 の導入	行政サービスの質の向上のため、「効率的な情報発信のためのLINE情報発信ツール」「いつでもどこでも行政手続きの申請が可能となる電子申請システム」「スマホからでも確認・利用可能な施設予約システム」「申請者の手続きの手間を削減する書かない窓口システム」について運用フローも踏まえ比較検討し、導入する。	総務課 鹿沼町DX推進本部 (各システムワーキンググループ)

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年度内の導入に向けた検討、導入後の積極的な活用											→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	導入実績 ①キャッシュレス端末(2カ所)、②行政手続きのオンライン化(34手続き)、③情報発信アプリ(mishika、LINE)・・・導入済み ④CMS(ホームページ)、⑤LINE情報発信ツール、⑥電子申請、⑦施設予約、⑧書かない窓口	目標としていた各種システムについて、各ワーキンググループでの検討を経て導入が完了した。導入したシステムは引き続き利活用促進に取り組んでいく。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
現在システムの陳腐化により、更新が急務となっている図書館システムについて、行政サービスの向上を目的に、LINEとの連携を見据えたシステムの導入を検討する。	構築期間が長期間となることを念頭に、できるだけ早期のシステム検討・導入を目指す。	図書館システム含め、引き続き行政サービスの向上に資すると考えられるツールについては追加的に検討を行う。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係 自然体験留学担当
-------	---------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	留学制度による親子留学者数（人/年）	5	10	11	10	留学制度による親子留学者数（児童・生徒の数）
施策と指標の関連性	他者への理解を促進する教育のために受け入れている他地域からの児童や生徒の数を指標とした。					

評価 総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	17,000	16,957	16,274	5	8	B	160%	地域での受け入れ可能数の現況調査
	2021	17,000	16,896	15,696	5	13	B	260%	留学制度再設計の検討
	2022	17,000	16,753	15,201	10	11	A	110%	留学制度受け入れ体制（居住環境整備）の構築
	2023	17,000	15,655	15,100	10	8	A	80%	留学制度受入れ体制の充実
	2024	17,000	16,000	14,770	10	7	A	70%	留学制度受入れ体制の充実
	2025	17,000	19,380		10				留学制度受入れ体制の充実
	2026	17,000			10				留学制度受入れ体制の充実
	2027	17,000			10				留学制度受入れ体制の充実
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
今後の留学制度について、現状を踏まえての制度の再設計	・地域での受け入れ可能数の現況調査 ・地域と学校への留学制度の理解を促す	・瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 ・教育委員会 ・町長及び副町長 ・瓜幕支所 ・企画課（移住） ・建設水道課（公住）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			現況調査								

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	留学者受入実績	目標達成率では70%ではあるが、親子留学から移住へ変更した方も含めると十分な達成率ではあると言える。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
空いている、空きそうな公営住宅の把握や、留学制度の地域への理解を常に行うように心掛ける。	空いている、空きそうな公営住宅の把握や、留学制度の地域への理解を常に行うように心掛ける。	参考までに、親子留学や留学センターからの移住の方や、留学制度による移住された瓜幕小中在籍の子は親子留学の7名以外に12名となる。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係 自然体験留学担当
-------	---------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	留連協事業部による各種自然体験事業数(事業/年)	6	7	7	7	留連協事業部による各種自然体験
施策と指標の関連性	交流や地域の活性化を目指し留連協事業部が実施する、地域の子どもや大人も含めた魅力的な自然体験事業の事業数を指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	17,000	16,753	15,201	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2023	17,000	15,655	15,100	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2024	17,000	16,000	14,770	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2025	17,000	19,380		7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・星座観察・熱気球体験・農業体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2026	17,000			7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2027	17,000			7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
単位	千円	千円	千円	千円	事業	事業			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
留学生にとっても地元の子にとっても魅力的な事業を計画・検討・実施していく	1 山菜採集体験 2 サマーキャンプinうりまく 3 ナイトクルーズ星座観察体験 4 農業体験 5 熱気球体験 6 冬の体験活動 7 スキー・スノーボード体験	瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 事業部

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討	実施（山菜）	検討	検討・実施（サマキャン）	検討	検討・実施（星座）	検討・実施（農業・熱気球）		検討	検討	実施（冬の体験）	実施（スキー）

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 A～Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然体験事業数と内容	留連協事業部、学校並びに地域の方の協力の元、当初の計画のとおり実施できた

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2023年度の農業体験は畑作体験として「そば打ち体験」を実施したので、2024年度は酪農体験として「搾乳体験」を実施することにした。	ナイトクルーズ視座観察体験の予定でしたが、然別湖での夜のクルーズをしなくなったのと、遊覧船も1台減って1台での運航では人数的に対応できないとのことでの中止。代わりに地域の方に星座観察を「しかおい展望の丘公園」にて行う。	学校の事業部担当の先生が積極的に関わっていただき、とてもスムーズに実施できた。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		総務課 財政係 行財政改革担当							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト							
	施策	行財政改革の推進							
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
		行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（千円）	-	△500,000 (前期累計)	△322,867 (累計)	△500,000 (前後期累計)	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額		
施策と指標の関連性		行財政改革の推進として一番大きな重点項目として、経費の削減効果額とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	705	705	0	0	△ 91,499	A		・ 行財政改革推進審議会委員報酬など
	2021	0	670	539	△ 300,000	△ 172,113	B	57%	・ 行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2022	0	0	0	△ 400,000	△ 322,867	A	81%	・ 行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2023	0	0	0	△ 500,000	△ 392,592	B	79%	・ 行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2024	0	0	0	△ 500,000	△ 434,318	A	87%	・ 目標値（削減額）は事務局による金額、段階的に行財政改革を執行
	2025	0	0		△ 500,000				・ 目標値（削減額）は行財政改革推進本部会議で正式決定し、段階的に行財政改革を執行
	2026	0			△ 500,000				・ 目標値（削減額）は行財政改革推進本部会議で正式決定し、段階的に行財政改革を執行
	2027	0			△ 500,000				・ 目標値（削減額）は行財政改革推進本部会議で正式決定し、段階的に行財政改革を執行
単位		千円	千円	千円	千円	千円			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制		
・ 2020年度以降の行財政改革の執行に向けて、各種会議体を設置し、財政状況の共有や見直し、役場組織の改革について協議を進める。			・ 行財政改革推進本部の継続 ・ 職員によるプロジェクトチームを発足 ・ 行財政改革大綱の見直し						・ 町長、副町長 ・ 各所属長 ・ 総務課（行革事務局、機構改革事務局） ・ 町民（団体の代表者、有識者など）		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		推進本部								推進本部	推進本部
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			目標で掲げた各種項目の実績数値を抽出			職員一丸となり目標達成のため取り組んでおり、達成率80%を超えたため、A評価とした。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
2021年度行財政改革推進審議会を設置し、行財政改革大綱が制定され、大綱が進行中のため変更点はない。			行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。				行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 財政係 行財政改革担当
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	企業版ふるさと納税 寄附額（千円）	0	50,000 (前期累計)	4,600	50,000 (後期累計)	企業版ふるさと納税の寄附額
施策と指標の関連性	行財政改革の推進により増加させる新たな財源である寄附額を指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	20,000	6,100	C	31%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2023	0	0	0	50,000	10,800	D	22%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2024	0	0	0	20,000	7,700	D	39%	・実績と別に物納1件（500千円相当） ・企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2025	0	0		30,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
	2026	0			40,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
	2027	0			50,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
単位		千円	千円	千円	千円	千円			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・事業に取り組むための資金を得るため、新たな企業から寄附を受ける。 ・企業との繋がりを広げ、今後連携した取組を行う見込みを得る。	・企業へのアプローチ、事業の周知（マッチング会の参加、マッチングサイトへの登録）	全課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
随時 マッチング会参加											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	決算額を抽出	町ホームページ更新や支援サービスの契約を行った。 また、「ほっかいどう応援セミナー（大阪・東京）」に出席し、担当課長が町の取組みについてプレゼンテーションを行い本町への応援を促したが、目標達成率が2割以上のため、D評価とした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
企業との繋がりを重視し、現在取り組んでいるワーケーションなどを通して新たな財源確保を務める。	随時、マッチング会などへ参加し、企業との繋がりを行う。 また、新たに他のマッチングサービスと契約し、機会拡大を図る。	新たな企業と繋がりができないか全課と連携し模索していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントなどが一堂に集うイベントを開催します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおい入込客数（人/年）	-	-	140,600	165,400	観光客入込客数
施策と指標の関連性	道の駅しかおいの誘客数を直接的に把握できる入込数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	60	60	96	152,000	155,500	A	102%	誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
	2025	60	60		156,000				誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
	2026	60			160,600				誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
	2027	60			165,400				誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
観光協会と連携した道の駅誘客事業に取り組みます。	道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントにて町内外から集客できるイベントを複数回開催します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅レジ通過数をもとに入込数を算出	イベントの開催を通じて来訪者の関心を喚起し、道の駅しかおいへの誘客を図った結果、入込数は目標値を上回り、増加を達成した。地域の賑わいづくりに大きく寄与したことから、評価はAとする。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
地域の魅力発信と集客力の強化を目的として、道の駅を活用したイベントや仕掛けを通じて来訪者の関心を喚起し、入込数の増加と滞在時間の延伸を図る。	来訪者の動向や季節性を踏まえ、年間を通じて定期的にイベントを企画・実施する。特に集客が見込まれる時期には重点的な施策を展開し、終了後には効果検証を行い、次回以降の内容改善につなげる。	道の駅しかおいの入込客数を目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントなどが一堂に集うイベントを開催します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおいエリアでのイベント数(回)	-	-	0	12	イベントの実施回数
施策と指標の関連性	道の駅しかおいへの誘客を目的とする直売会やキッチンカーイベントなどの小規模イベントの実施数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	60	60	96	12	11	A	92%	観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2025	60	60		12				観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2026	60			12				観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2027	60			12				観光協会補助事業による連携イベントの実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
観光協会と連携した道の駅誘客事業に取り組みます。	道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントにて町内外から集客できるイベントを複数回開催します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅しかおい直売会、鹿追町観光協会などイベント主催者への確認による。	イベントの開催を通じて来訪者の関心を喚起し、道の駅しかおいへの誘客を図った。実施回数は目標の9割を達成しており評価をAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
地域の魅力発信と集客力の強化を目的として、道の駅を活用したイベントや仕掛けを通じて来訪者の関心を喚起し、入込数の増加と滞在時間の延伸を図る。	来訪者の動向や季節性を踏まえ、年間を通じて定期的にイベントを企画・実施する。特に集客が見込まれる時期には重点的な施策を展開し、終了後には効果検証を行い、次回以降の内容改善につなげる。	イベントの実施回数を目録値・実績とする。

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	とかち鹿追ジオパークは、持続可能な地域の実現を目標に、保全・教育・ツーリズムの各分野で活動を推進している。これらの活動は地域住民が主体となって進めることが重要であり、そのための普及啓発と協力を進めていく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	とかち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数（人/年）	3,000	3,300	3,139	3,500	とかち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とかち鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	9,398	5,509	4,972	3,100	1,933	B	62%	とかち鹿追ジオパーク推進協議会補助金など
	2021	6,605	6,329	5,008	3,200	2,197	B	69%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2022	6,605	4,991	5,615	3,300	3,139	A	95%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2023	6,605	4,199	8,199	3,300	8,574	A	260%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2024	6,605	5,120	4,975	3,500	5,171	A	148%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2025	6,605	5,687		3,500				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2026	6,605			3,500				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
	2027	6,605			3,500				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ジオパーク活動に対する理解者や連携団体、事業者とさらに連携を深めながら自然遺産の保全に努める。また、地球温暖化等の変化に対ししなやかに対応できる地域を目指し防災教育等を進めていく。	・学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 ・地域行事でのPRブース出展 ・ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 ・ジオパークガイド養成講座の実施 ・関係機関と連携した保全活動（鉱物・野生動植物・登山道等） ・防災教育事業の推進 ・拠点施設の改修及び看板整備 ・アクションプランの実施 ・学術調査の実施（継続事業）	・推進協議会（町長、団体代表者など） ・推進協議会幹事会 ・ジオパーク推進課（事務局） ・町民（ジオパーク協力店、認定ガイド等）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等～3月まで			幹事会		幹事会（予算等）			幹事会	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	来館者記録簿 ・町内 ・管内 ・道内 ・道外に分類	2023年に話題となった北海道石の影響もあり多くの来館者があった。また、リピーターも多く来館されている印象で、展示物や展示案内が評価されていると考えられる。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
リピーターにも満足していただけるように展示物の改良や追加を行っていく	展示物の制作を追加する	チェックの方法については変更しない

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	とがち鹿追ジオパークは、持続可能な地域の実現を目標に、保全・教育・ツーリズムの各分野で活動を推進している。これらの活動は地域住民が主体となって進めることが重要であり、そのための普及啓発と協力を進めていく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	講座・ツアー等の受講者数（人/年）	642	700	728	1,000	とがち鹿追ジオパーク講座・ツアーなどの受講者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とがち鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	6,605	4,991	5,615	700	728	A	104%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2023	6,605	4,199	8,199	700	1,650	A	236%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2024	6,605	5,120	4,975	775	881	A	114%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2025	6,605	5,687		850				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2026	6,605			925				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2027	6,605			1,000				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ジオパーク活動に対する理解者や連携団体、事業者とさらに連携を深めながら自然遺産の保全に努める。また、地球温暖化等の変化に対ししなやかに対応できる地域を目指し防災教育等を進めていく。	- 学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 - 地域行事でのPRブース出展 - ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 - ジオパークガイド養成講座の実施 - 関係機関と連携した保全活動（鉱物・野生動植物・登山道等） - 防災教育事業の推進 - 拠点施設の改修及び看板整備 - アクションプランの実施 - 学術調査の実施（継続事業）	- 推進協議会（町長、 団体代表者など） - 推進協議会幹事会 - ジオパーク推進課（事務局） - 町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等～3月まで			幹事会		幹事会（予算等）			幹事会	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ジオパーク活動による、各種講座・ツアー等の受講者数	昨年比では-769人であるが、これは認定10周年記念事業（絵本カーニバル）を6日間開催し835人の利用があったことの影響が大きい。それ以外では、ツアー実施回数、参加者数ともに増加傾向にあり順調に目標値に達している。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
認定ガイドが企画・運営するツアーの実施を促していく	スケジュールに変更はないが、随時ツアーの実施機会を探っていく。また、第15回日本ジオパーク全国大会に付随したツアーの実施を企画していく。	チェック体制・方法に変更はなし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数(回/年)	5	10	6	6	各種イベント等における畜産物需要拡大PR・普及活動の回数
施策と指標の関連性		安心安全な農畜産物の需要がさらに増すよう実施する、各種イベントでのPR回数を指標とした。				

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	1,300	1,700	0	7	4	B	57%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2021	1,300	1,700	1,700	8	5	B	63%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2022	1,300	1,300	1,300	9	6	B	67%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2023	1,300	1,300	1,300	10	6	B	60%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2024	1,300	1,300	1,300	6	9	A	150%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2025	1,300	1,300		6				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2026	1,300			6				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2027	1,300			6				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内外において、安心・安全な高品質の本町農畜産物の需要拡大PR、普及活動を実施。	各種イベント等において、普及・PR活動を実施。	・町長、副町長 ・農業振興課 ・商工観光課 ・農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			普及・PR活動								

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	各種イベント等で行った畜産物需要拡大PRの実績	目標達成率が8割以上であったためAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	会議を行う 鹿追町農畜産物需要拡大推進協議会幹事会

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	乳製品消費拡大PR回数(回/年)	0	12	7	7	乳製品消費拡大PR活動の回数
施策と指標の関連性	農畜産物の中でも、乳製品の需要がさらに増すよう実施するPRの回数を指標とした。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	333	10	7	B	70%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2023	0	0	3,000	12	14	A	117%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2024	0	0	333	7	9	A	129%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2025	0	0		7				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2026	0			7				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2027	0			7				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内において、乳製品のPR、普及活動を実施	牛乳や乳製品を料理に使用したり、試飲、試食してもらうことで普及・PR活動を実施	・農業振興課 ・農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳製品需要拡大PRの実績	目標達成率が8割以上であったためAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	会議を行う 鹿追町酪農振興会

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	外国語教育の充実
	施策の概要	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、指導改善やICT活用促進、指導体制の充実に図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)	-	-	測定値 なし	50	英語学習への意欲と実用的コミュニケーション能力を測定し学習成果を評価
施策と指標の関連性	英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検等の合格割合を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	335	335	318	30	15	C	50%	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2025	365	365		40				高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2026	365			45				高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2027	365			50				高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024(R6)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
興味関心を高める教材と体験学習で積極的な英語接触機会を創出する	ICT音声教材・ALT交流・イマージョン等の体験型学習プログラム実施	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	英会話を含めた実践的な英語能力は高いと評価できるが検定などの受験者が少ないとも考えられる。積極的な受験につながる機運の情勢など鹿追高校ならではの英語教育の学習成果を評価できるようにしたい。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
姉妹提携校への交換留学を通じた英語接触機会の拡大を図る。	主要な検定への挑戦機会の拡充。	現場のチェック体制の継続

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	外国語教育の充実
	施策の概要	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、指導改善やICT活用促進、指導体制の充実に努める。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	英語学習への積極性	-	-	測定値 なし	95	英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検等の合格割合を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	485	485	302	85	85	A	100%	英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2025	432	432		88				英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2026	432			90				英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2027	432			95				英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
英語で自己表現する機会を増やし、実践的なコミュニケーション能力の育成を図る。	ALTとの連携強化、ICTを活用した言語活動、海外交流活動など実践的な英語教育を推進する。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	年間通して実践し、目標の実績値を達成することができた

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
生徒の興味関心に合わせた題材選定や、実生活に関連した表現活動の機会を増やす。	オンライン国際交流の機会を増やし、実際に英語を使用する機会を計画的に設定する。	パフォーマンス評価を取り入れ、英語表現力の向上度を定期的に測定する仕組みを導入する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	探求教育の充実
	施策の概要	児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	異なる意見への探究心指標	-	-	測定値 なし	80	「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
施策と指標の関連性	多様な考えに触れることが探究的な学びの土台となり、この姿勢が児童の思考力や課題解決能力の基盤となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	75	70	A	93%	「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2025	-	-		75				「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2026	-			80				「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2027	-			80				「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
低学年から対話的な学びを取り入れ、異なる意見を聞く機会を計画的に設ける。	テーマ型学習や地域と連携した体験学習など、多様な意見に触れる学習活動を実施する。	・各小中学校 ・一貫教育連携会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	全国学力・学習状況調査の結果把握	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	全国の傾向に基づく学校内分析	成果の検証と次年度への改善案策定	教員研修、探究型授業の年間計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	教師アンケート	肯定的回答が70%と目標の80%に届いておらず、多様な意見に触れる機会をさらに充実させる必要がある。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
発達段階に応じた探究テーマの設定や、児童が興味を持てる地域課題の発掘を行う。	ICTを活用して他校との交流学習や、地域人材の積極的な活用を計画的に取り入れる。	児童の変容を可視化するためのループリック評価や振り返りシートの活用を強化する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		学校教育課 学校教育係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト							
	施策	探求教育の充実							
	施策の概要	児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習の充実を図る。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	後期 現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	内容		
		自ら課題を発見し解決する力	-	-	測定値 なし	75		自分と違う意見について考えるのは楽しい と思いますかの質問に対して肯定的に回答 した人の割合	
施策と指標の関連性		探究的な学びには他者の意見に触れ、多角的視点で考えることが必須であり、この姿勢が課題発見・解決力の基盤となるため。							
評価 総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標 達成率	内容
	2020	-	-	-	-	-	-	-	
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	65	60	A	92%	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2025	-	-	-	68				「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2026	-	-	-	73				「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2027	-	-	-	75				「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
単位	千円	千円	千円	%	%				

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針		具体的な事業内容							実施体制		
授業において対話的な学びの機会を増やし、多様な意見に触れる環境を整備する。		グループ学習やディスカッション、プレゼンテーションなどの探究型授業形態を増やす。							・各小中学校 ・一貫教育連携会議 ・学校運営協議会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	探究型授業の実践、中間評価	探究型授業の実践、中間評価	探究型授業の実践、中間評価	全国学力・学習状況調査の結果把握	学校内分析	事業実践	事業実践	全国学力・学習状況調査の結果公表	全国の傾向に基づく学校内分析	探究型授業の計画策定	成果の検証、次年度への改善案策定
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)				
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				児童生徒アンケート		肯定的回答が60.4%と目標の75%に届いておらず、対話的学びを好む生徒の割合をさらに高める必要がある。				
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)						
探究的な学びの楽しさを実感できる題材選定やICT活用など授業設計を見直す。	生徒が主体的に取り組める地域課題の発掘や外部講師の活用を計画的に取り入れる。				生徒の変容を定期的に確認できるよう、学期ごとの振り返りアンケートを導入する。						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	イノベーションを担う人材育成
	施策の概要	新しいアイデアや技術を生み出し、社会に新たな価値を提供できる人材の育成を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	協働的な課題解決力	-	-	測定値 なし	90	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	イノベーション創出には他者と協働して課題解決に取り組む力が不可欠であり、この力の育成状況を測る重要な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	90	96	A	107%	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	90				友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-	-	90				友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2027	-	-	-	90				友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
児童が主体的に考え、協働して課題を解決する学習活動の充実を図る。	プロジェクト型学習、地域と連携した課題解決学習、ICTを活用した協働学習などを推進する。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果把握	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	年間指導計画の見直し、教員研修の実施	成果発表会、次年度計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	全国学力・学習状況調査	肯定的回答が96%と高く、協働的な課題解決に前向きに取り組む児童が多いが、100%達成に向けた更なる工夫が必要である。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
全ての児童が得意分野を活かせる役割分担や、より実践的な課題設定を工夫する。	ICTを活用した他校との交流学習や、地域人材との連携を強化し実践的な場面を増やす。	協働的な課題解決力の育成状況を継続的に把握するための評価指標を多面的に設定する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	イノベーションを担う人材育成
	施策の概要	新しいアイデアや技術を生み出し、社会に新たな価値を提供できる人材の育成を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合(%)	-	-	測定値なし	70	高校生の自主性と課題解決能力の向上度を自己評価により測定する指標
施策と指標の関連性	イノベーションの創出には協働的な課題解決力が不可欠であり、周囲と協力して主体的に取り組む姿勢が重要であるため。					

評価総括表	事業の点検				目標達成率		内容	
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値		
	2020	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-
	2024	200	184	184	50	60	A	120% 主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合(%)
	2025	220	220		60			主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合(%)
	2026	220			65			主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合(%)
	2027	220			70			主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合(%)
単位		千円	千円	千円	%	%		

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
協働的問題解決と地域課題解決型プロジェクト学習機会を拡充し育成	地域・企業連携による課題解決学習とアントレプレナーシップ教育推進	・学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域課題解決型プロジェクト学習の実施	高校魅力化アンケート調査	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	結果分析と対応策協議	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	年間指導計画の見直し、教員研修の実施	成果確認、次年度計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	高校魅力化評価システム	主体性に関わる自己認識で肯定的な回答の割合は目標値に達したが後年の目標達成に向け工夫・改善を図る必要がある

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
全生徒が自分の強みを活かせる役割分担や、実社会と結びついた課題設定を工夫する。	地域人材や企業との連携を強化し、実践的な課題解決の機会を計画的に設定する。	協働的問題解決力の育成状況を把握するための継続的なチェックを行う。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	学校段階間・学校と社会の接続推進
	施策の概要	学校種間の連携強化と社会とのつながりを意識した教育活動の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域・社会貢献への意欲			測定値 なし	90	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	地域や社会への貢献意欲は、学校と社会の接続意識を表す重要な指標であるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	90	84	A	93%	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-		90				地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-			90				地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			90				地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域社会との連携を強化し、地域課題解決に参画する体験的な学習活動の充実。	地域人材を活用した教育活動の展開と、地域イベントや地域貢献活動への児童の参画促進。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	地域課題調査活動の実施	年間活動の振り返りと評価	地域連携年間計画の策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	地域貢献への意欲を持つ児童は84.0%と高水準にあるが、具体的な行動に結びつける工夫がさらに必要。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
児童の発達段階に応じた地域貢献活動のメニューを拡充し、より主体的な参画を促す仕組みづくりが必要。	地域の企業や団体との連携を強化し、持続可能な地域連携の体制整備を進める。	地域貢献活動への参加状況や児童の意識変容を継続的に把握する評価方法の開発と実施。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	学校段階間・学校と社会の接続推進
	施策の概要	学校種間の連携強化と社会とのつながりを意識した教育活動の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	将来に向けた目標意識			測定値 なし	75	将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	将来の夢や目標を持つことは、学校での学びと社会との接続を意識する基盤となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	70	69	A	99%	将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-		72				将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-			73				将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			75				将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
キャリア教育の充実と高校や地域社会との連携強化による、将来展望を持った学びの推進。	職場体験活動の拡充と、高校と連携したキャリア教育プログラムの実施、地域人材による講話の活性化。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	地域課題調査活動の実施	年間活動の振り返りと評価	地域連携年間計画の策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	将来の夢や目標を持つ生徒は68.8%であり、より具体的な将来展望を持てるような指導の工夫が必要。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
地域や企業との連携をさらに強化し、多様な職業や生き方に触れる機会の拡充が必要。	キャリア・パスポートの活用を徹底し、小中高の連携による系統的なキャリア教育の推進。	将来の夢や目標の具体性や実現可能性についても評価し、質的な変容も把握する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	主観的ウェルビーイングの向上
	施策の概要	児童の心身の健康と幸福感を高め、安心して学べる環境づくりを推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	幸福感の実感	-	-	測定値 なし	95	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	日常生活での幸福感の実感、児童のウェルビーイングの直接的な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	95	92	A	97%	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-		95				普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-			95				普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			95				普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
子どもたちの心身の健康と幸福感を高めるための学校環境の整備と教育活動の充実。	心の健康教育プログラムの実施と、自己肯定感を高める指導の充実、安心して過ごせる学校環境づくり。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	個別支援計画の見直しと改善	全国学力・学習状況調査結果公表	心の健康教育プログラム	年間活動の成果検証と次年度計画	ウェルビーイング向上年間計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	アンケート	幸福感を実感している児童は92.0%と高い水準にあるが、個別のケースへの対応をさらに充実させる必要がある。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
幸福感を実感する機会が少ない児童への個別支援の充実と、家庭・地域と連携した取り組みの強化。	定期的なウェルビーイングの状況把握と、多様な児童のニーズに対応したプログラムの柔軟な実施。	幸福感の質的な側面や要因分析を行うための独自のアンケート調査を実施し、より詳細な実態把握を行う。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	主観的ウェルビーイングの向上
	施策の概要	児童の心身の健康と幸福感を高め、安心して学べる環境づくりを推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	学校生活の充実感	-	-	測定値 なし	70	学校に行くのは楽しいと思いきに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	日常生活での幸福感の実感、児童のウェルビーイングの直接的な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	65	63	A	97%	学校に行くのは楽しいと思いきに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-		66				学校に行くのは楽しいと思いきに肯定的に回答した人の割合
	2026	-			68				学校に行くのは楽しいと思いきに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			70				学校に行くのは楽しいと思いきに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
生徒が安心して過ごせる学校環境の整備と、一人ひとりの自己肯定感を高める教育活動の充実。	いじめ防止対策の強化と心の健康教育の推進、教育相談体制の充実と居場所づくりの取り組み。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	個別支援計画の見直しと改善	全国学力・学習状況調査結果公表	生徒会活動を中心とした居場所づくり	年間活動の成果検証と次年度計画	ウェルビーイング向上年間計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	アンケート	学校生活を楽しんでいる生徒は62.5%であり、全ての生徒が安心して過ごせる環境づくりがさらに必要。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
生徒の声をより反映させた学校環境の改善と、個別のニーズに対応したきめ細かな支援体制の強化。	教職員が生徒理解研修の充実と、生徒の自主的な活動を支援する体制の強化。	学校生活の楽しさを感じる要因や阻害要因の詳細分析を行い、効果的な支援策を検討する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムを推進する体制の充実
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数（件）	357	500	419	460	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数
施策と指標の関連性		高齢者が在宅生活を継続する方法を共に考える手段のひとつである相談の件数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	24,000	24,915	25,020	350	133	B	38%	地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
2021	24,000	25,828	25,504	400	203	B	51%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2022	24,000	28,274	27,682	450	419	A	93%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2023	24,000	29,825	25,279	500	392	B	78%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2024	25,000	27,644	24,574	400	319	B	80%	地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
2025	25,000	31,162		420				地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
2026	25,000			440				地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
2027	25,000			460				地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
単位	千円	千円	千円	件	件			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・地域の支援を必要とする高齢者や家族などの相談を受け付け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ支援していきます。 ・医療機関と居宅に関する介護サービスとの連携を図ります。 ・権利擁護業務の推進に努めます。 ・重層的支援体制整備事業との連携を図ります。	介護予防・日常生活支援総合事業、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、認知症施策の推進、権利擁護業務、在宅医療・介護との連携の推進、生活支援サービス体制の整備、居宅介護支援	・各所属長 ・保健福祉課 ・社会福祉協議会 ・医療機関 ・介護施設 ・介護サービス事業所 ・町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・各種相談 ・生活支援サービスについての協議 ・認知症カフェ ・民生委員との連携				・在宅医療介護連携推進会議	RUN伴		・認知症サポーター養成講座	・個別避難計画策定			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談件数	相談件数は目標値を下回ったが、相談窓口や介護サービス等の広報、老人会等での事業説明等を通じて早めの相談を呼び掛けてきた。引き続き高齢者の在宅生活継続のため、相談機能の充実化を図る。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要の変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更なし	変更なし	変更なし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムを推進する体制の充実
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活が続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	医療介護福祉の機関との会議開催数(回/年)	3	12	6	12	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
施策と指標の関連性	医療介護福祉の関係機関と連携して町民への支援を考えるために開催する会議の回数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	12	6	C	50%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2023	0	0	0	12	12	A	100%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2024	0	0	0	12	10	A	83%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2025	0	0		12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2026	0			12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2027	0			12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
単位	千円	千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
医療・介護・福祉に係る関係機関との連携を図る。	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、在宅医療・介護との連携の推進、居宅介護支援、地域ケア会議、担当ケースに係る関係機関との連絡会議等	・各所属長 ・保健福祉課 ・社会福祉協議会 ・医療機関 ・介護施設 ・介護サービス事業所 ・町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・連絡会議	・地域ケア会議						・在宅医療介護連携推進会議			・地域ケア会議	→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 A～Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議開催件数	会議開催回数の目標値には届かなかったが、必要に応じて各種会議を開催し、鹿追町における個別課題や地域課題へ対応した。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更なし	変更なし	変更なし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		保健福祉課 福祉係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	包括的な支援体制の整備							
	施策の概要	高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援でそれぞれ取り組んできた「相談支援」「参加支援」「地域づくり」に関する支援を一体的に行い、制度の縦割りから包括的支援体制を構築していく。							
関係指標	指標名	前期		後期		内容			
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
	福祉重層的支援定例会数（回/年）	-	-	8	12	各関係機関の情報を共有し、包括的な支援体制整備を考えるために開催する定例会の回数を指標とした。			
施策と指標の関連性		各関係機関の情報を共有し、包括的な支援体制整備を考えるために開催する定例会の回数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	43,293	39,676	42,516	5	5	A	100%	各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
	2025	46,000	41,535		10				各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
	2026	49,000			10				各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
	2027	52,000			12				各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
単位	千円	千円	千円	回	回				

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。	複数の分野にまたがる課題を抱える個人や世帯に対して、必要に応じて連携会議を開催し、各支援関係機関における役割分担等のコーディネートを行う。	保健福祉課を中心として、学校教育課、子育て支援課、建設水道課、町民課との連携を図る。

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会の開催	定例会の開催		定例会の開催	定例会の開催		定例会の開催		定例会の開催		定例会の開催	定例会の開催

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議開催件数	定期的に重層的支援担当が集まり、福祉的な課題のある困難な事例や潜在的ニーズを有する方の情報共有及び課題解決を行うことができた。

Action

Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更なし	変更なし	変更なし

担当課・係		保健福祉課 福祉係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	包括的な支援体制の整備							
	施策の概要	高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援でそれぞれ取り組んできた「相談支援」「参加支援」「地域づくり」に関する支援を一体的に行い、制度の縦割りから包括的支援体制を構築していく。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2021年度)		後期 目標値 (2023年度)		現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	内容
		相談支援件数（件/年）	-	-	5	10	断らない包括的な支援体制により実際の相談支援件数を指標とした。		
施策と指標の関連性		断らない包括的な支援体制により実際の相談支援件数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標達成率	内容
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	0	0	0	10	8	A	80%	多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2025	0	0		10				多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2026	0			10				多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2027	0			10				多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	単位	千円	千円	千円	件	件			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標													
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制				
複数の分野にまたがる課題を抱える個人や世帯に対して、必要に応じて連携会議を開催する。			関係機関への連絡調整や会議の開催、今後の方向性を検討、役割分担等							ケースの相談内容に伴う、関係機関との連携				
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
随時実施											→			
Check	「Do」の結果・チェックなど													
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）						
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			実際の相談支援件数			目標値10件の相談支援件数に対して、8件の相談支援を実施した。						
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など													
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）						
変更なし				変更なし				変更なし						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
	施策の概要	地域学校協働活動推進員の効果的な配置や校長の社会教育士の取得支援、ライフアカデミーマイスター制度の活用等により、学校を核としたコミュニティづくりを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域学校協働活動実施数(回/年)	-	-	18	20	地域学校協働活動実施数
施策と指標の関連性	地域と学校の連携により実施した事業について、直接的な指標となると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	18	64	A	356%	・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2025	46	46		19				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2026	46			19				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2027	46			20				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域・学校・家庭の連携・協働の推進	・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施	教育委員会社会教育課 教育委員会学校教育課 各学校

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	主催事業及び学校への聞き取り	・ライフアカデミーマイスターの活用まではいかなかったが、地域人材の活用が図られた。 ・目標達成率が8割以上のためAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
効果的に実施できていないことから方法について検討していく	必要に応じスケジュールについては見直しを行う。	担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
	施策の概要	地域学校協働活動推進員の効果的な配置や校長の社会教育士の取得支援、ライフアカデミーマイスター制度の活用等により、学校を核としたコミュニティづくりを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	人材バンクを活用した事業実施数(回/年)	-	-	0	7	人材バンクを活用した事業実施数
施策と指標の関連性	人材バンクに登録した方を実際に活用した数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	1	1	A	100%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2025	46	46		3				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2026	46			5				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2027	46			7				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ライフアカデミーマイスター制度の活用	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用	教育委員会社会教育課 教育委員会学校教育課 各学校

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集
周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知
活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の開催数	・目標値を達成できたため評価をAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
効果的に実施できていないことから方法について検討していく	必要に応じスケジュールについては見直しを行う。	担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	人材バンクの活用
	施策の概要	ライフアカデミーマイスター制度の改善充実、人材の発掘や既存のマイスターの積極的なPR・活用と近隣町人材バンクとの連携を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	人材バンクを活用した事業実施数(回/年)	-	-	2	5	人材バンクを活用した事業実施数
施策と指標の関連性	人材バンクに登録した方を実際に活用した数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	3	2	B	67%	・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2025	46	46		4				・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2026	46			5				・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2027	46			5				・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
制度活用のための積極的なPR	・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携	教育委員会社会教育課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の開催数	・実績値はあったが、目標達成率が6割だったため評価をBとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
効果的に実施できていないことから方法について検討していく	必要に応じスケジュールについては見直しを行う。	担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	人材バンクの活用
	施策の概要	ライフアカデミーマスター制度の改善充実、人材の発掘や既存のマスターの積極的なPR・活用と近隣町人材バンクとの連携を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ライフアカデミーマスター登録者数（人）	-	-	26	30 (累計)	ライフアカデミーマスター登録者数
施策と指標の関連性	人材バンクの活用には登録が必要であることから指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	27	33	A	122%	・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2025	46	46		28				・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2026	46			29				・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2027	46			30				・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ライフアカデミーマスター制度の改善充実	・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR	教育委員会社会教育課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度見直し	制度見直し	制度見直し	制度見直し	制度見直し	PR	PR	PR	PR	PR	PR	PR

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	登録名簿による	・目標値を達成できたため評価をAとした。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
効果的に実施できていないことから方法について検討していく	必要に応じスケジュールについては見直しを行う。	担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町外道の駅との連携イベントの実施回数(回)	2	10 (累計)	0	5 (累計)	町外道の駅との連携イベントの実施回数
施策と指標の関連性	施策として行う町外の道の駅との相互連携事業の実施回数を指標とする。					

					事業の点検			目標 達成率	内容
年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価			
評価 総括表	2020	1,200	1,200	0	3	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2021	500	500	0	5	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2022	500	500	0	7	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2023	500	300	0	10	0	Y	0	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2024	200	200	285	5	6	A	120%	・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2025	200	200		5				・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2026	200			5				・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2027	200			5				・観光協会補助事業による連携イベントの実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
物産振興を図るため観光協会と連携した道の駅連携事業に取り組みます。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会		相互連携事 業	相互連携事 業	相互連携事 業	相互連携事 業	相互連携事 業					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	担当係にて実施回数の 確認による。	道の計しかおいにおいて町外の道の駅と連携したイベントを開催し、目標となる回数を達成したことから、A評価とする

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
町外の道の駅との連携を通じて相互の魅力発信を図り、広域的な観光誘客と地域間交流の促進を目的として連携イベントを実施する。各地域の特産品や観光資源の紹介を通じて、来訪者の満足度向上と町の認知度向上を目指す。	広域的な観光誘客と地域間交流を目的に、他地域と連携したイベントを複数回実施する。企画立案・広報準備を経て、各回で集客を図り、実施後は反響を確認し、成果を整理する。	イベントの実施回数を目標値・実績値とする

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおい、うりまく入込数（人/年）	139,436	160,000	154,133	187,000	道の駅しかおい、うりまく入込数
施策と指標の関連性	町内特産品を町外へ積極的に発信することなどにより増加させる。道の駅しかおい、うりまくの入込数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	500	500	0	150,000	154,133	Y	103%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2023	500	500	0	160,000	167,418	Y	105	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2024	200	200	285	172,000	170,300	A	99%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2025	200	200		177,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2026	200			182,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2027	200			187,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
物産振興を図るため観光協会と連携した道の駅連携事業に取り組みます。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会		相互連携事業	相互連携事業	相互連携事業	相互連携事業	相互連携事業					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅レジ通過数をもとに入込数を算出	道の計しかおいにおいて町外の道の駅と連携したイベントを開催し、目標となる入込数をほぼ達成したことから、A評価とする

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
町外の道の駅との連携を通じて相互の魅力発信を図り、広域的な観光誘客と地域間交流の促進を目的として連携イベントを実施する。各地域の特産品や観光資源の紹介を通じて、来訪者の満足度向上と町の認知度向上を目指す。	広域的な観光誘客と地域間交流を目的に、他地域と連携したイベントを複数回実施する。企画立案・広報準備を経て、各回で集客を図り、実施後は反響を確認し、成果を整理する。	入込数を目標値・実績値とする

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

		担当課・係	町民課 住民生活係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化							
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
		行政区等を対象とした 防災訓練等の回数（回/年）	0	10	5	5	防災一般講話、個別・地区計画に係る		
施策と指標の関連性		防災意識の普及のために実施する防災訓練等の回数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
	2020	4,567	4,567	3,996	10	0	C	0%	・防災備品の整備 ・防災防火フェスティバル開催 ・北海道総合行政ネットワーク工事負担金 他
	2021	268	1,753	1,753	10	5	B	50%	・防災備品の整備 ・「防災・防火フェスティバルinしかおい」の開催 ・防災講話や防災訓練の実施 ・避難所運営マニュアルの整備
	2022	268	346	343	10	5	C	50%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
	2023	268	0	0	10	4	C	40%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
	2024	0	0	0	5+5	4	C	40%	・防災講話や防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
	2025	0	0		5+5				・防災講話や防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
	2026	500			5+5				・「防災・防火フェスティバルinしかおい」の開催 ・防災講話や防災訓練の実施 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
	2027	0			5				・防災講話や防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
単位	千円	千円	千円	回	回				

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標											
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
各学校・団体等における自助・共助の重要性等についての一般的な防災意識の高揚と個別避難計画及び地区防災計画の策定に向けた地区協議等により防災体制の充実強化（ソフト面）を図る。			・防災ハザードブックや広報紙等を活用し、停電、断水、火災、風雪、水害、地震など自然災害等に対する防災意識の高揚に努めます。 ・個別避難計画、地区防災計画の策定に向けての地区協議等、順次取り組みます。 ・防災備品の再検討を行います。							鹿追町防災会議・地域防災委員		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
個別避難計画の策定に向けた内部協議					個別避難計画対象者の選定	対象者、防災委員等との協議	地区等との協議	個別避難計画の策定		個別避難計画に基づく訓練		
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				開催実績回数 個別避難計画				防災訓練等の回数は横ばいであり、個別避難計画の策定に向けた取り組みでは、避難支援プラン及びマニュアルの策定までの進捗であったためCとした。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など											
Planの変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）							
変更なく進捗途上の事業を推進する。				個別避難計画の策定を要する対象者の選定と希望調査を実施し、該当地区との協議と合わせて地区防災計画の策定を推進する。				個別避難計画の策定、地区防災計画の策定及び訓練実施の目標達成率で評価する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		町民課 住民生活係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化							
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	後期 現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	内容		
		避難所運営マニュアル等の改定（事業）	0	3 (累計)	1	2	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアル等の改定		
施策と指標の関連性		防災体制の強化を目的に、避難所運営マニュアル等の内容を充実させる。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標達成率	内容
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	1	1	A	100%	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルの改定
	2023	2,000	1,351	1,288	2	3	A	100%	ハザードブックの更新 防災備蓄食料の整備
	2024	1,351	1,351	1,288	2	2	A	100%	・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災用デジタル簡易無線機整備 ・防災備蓄品の再検討
	2025	462	471		2				・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
	2026	462			2				・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
	2027	462			2				・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
単位		千円	千円	千円	事業	事業			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
防災備蓄品の再検討と計画的な整備。			・防災備蓄食料の計画的な整備・更新に努めます。 ・個別避難計画・地区防災計画の策定に向けた協議等に合わせて防災備蓄品の品目・数量等の再検討を行い、計画的な整備に努めます。							鹿追町防災会議・地域防災委員	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
補助金等関係機関打合せ		防災用デジタル簡易無線機入札		防災用デジタル簡易無線機納品・運用開始	補助金等交付申請	備蓄食料入札				備蓄食料納品	補助金等交付決定・実績報告
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			避難所運営マニュアルの改訂			計画どおり遂行できた。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)			
防災備蓄品の再検討と計画的な整備。				防災備蓄食料の計画的な整備・更新のほか、個別避難計画・地区防災計画の策定に向けた協議等に合わせて防災備蓄品の品目・数量等の再検討を行う。				防災体制の維持・充実強化を図るための事業数・内容により評価する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	受入れホスト家庭数 (戸)	308	358 (累計)	318	358 (累計)	受入れホスト家庭数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が中心で、ホームステイによる交流の継続を目標としているため、受入れホスト家庭数を目標値としている。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	20,000	17,859	1,415	328	318	B	97%	・姉妹提携35周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2021	7,500	10,647	1,695	338	318	A	94%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2022	7,500	1,882	1,931	348	318	C	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2023	7,500	5,359	3,467	358	327	A	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2024	12,807	12,807	8,110	334	332	A	99%	・友好訪問団派遣 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2025	20,000	16,718		342				・姉妹提携40周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2026	7,500			350				・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2027	7,500			358				・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
単位		千円	千円	千円	戸	戸			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ストニブレイン町との交流事業	・友好訪問団派遣 ・短期留学生訪問団受入事業 ・相互住民長期滞在事業 ・国際交流センターの運営	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相互① センター	相互① 友好訪問団 センター	相互① センター	短期留学生 センター	相互② センター	相互② センター	センター	センター	相互③ センター	相互③ センター	センター	センター

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	派遣・受入の実績を データで管理してい る。	訪問団員の数が少なかったため、ホスト家庭の数字は目標値を下回っているものの、ホスト家庭希望者も必要数よりも多く、まだ5件中3件が新規のホスト家庭であり、交流事業の深まりに効果的であったと言える。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
次年度は姉妹提携40周年を迎えるため、記念行事の実施を円滑に進めていく。	姉妹提携40周年記念行事の実施	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	国際交流事業に参加した鹿追町民の数(人/年)	60	60	220	100	国際交流事業に参加した鹿追町民の数
施策と指標の関連性	各種オンライン交流や国際交流センターにおけるイベント等の実施を通じて国際交流に興味をもつ町民を増やしていくことが、今後の交流事業に重要なため。					

評価総括表	事業の点検				目標達成率		内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	
	2020	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-
	2022	7,500	1,882	1,931	60	220	B 366% ・オンラインを活用した交流の実施(料理教室、語学教室) ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
	2023	7,500	5,359	3,467	60	148	B 246% ・オンラインを活用した交流の実施(語学教室) ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
	2024	12,807	12,807	8,110	70	50	B 71% ・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2025	20,000	16,718		80		・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2026	7,500			90		・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2027	7,500			100		・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
単位		千円	千円	千円	人	人	

2024(R6)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
国際交流に興味を持ち、交流事業に参加する町民を増やしていく	・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					TFR				平成館イベント①		平成館イベント②

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業の参加者数	国際交流センター平成館においては、主担当の職員が半年間不在となってしまったこともあり、国際交流事業を行うことができなかった。そのような中でも、SSハウスにおける長期滞在事業による交流事業やTFRなどの国際関係イベントの実施を通して、町民が国際交流事業に参加する機会は確保できたと考える。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
国際交流センター平成館に求められる機能などを考えながら、平成館における交流事業については再考していきたい。 なお、SSハウスにおける長期滞在者との交流事業などは継続して活発的なものになるよう推進したい。	国際交流センター平成館に求められる機能などを考えながら、平成館における交流事業については再考していきたい。	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

		担当課・係	企画課 企画係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	町民の町政参加機会の拡充							
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
			現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)			
		各種審議会委員などの無作為抽出選出件数(件/年)	0	5 (累計)	0	1	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数		
施策と指標の関連性		町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。							
評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	0	0	0	1	0	B	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2021	0	0	0	2	1	C	50%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2023	0	0	0	5	2	C	40%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2024	0	0	0	1	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2025	0	0		1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2026	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2027	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
単位		千円	千円	千円	件	件			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標											
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制		
各種審議会委員等の選出における公募や無作為抽出などの手法の積極的な検討				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認						町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			条例周知 実施状況確認			条例周知						
Check				「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）				
D		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			庁内各課への照会による。			各課への周知等を行っているものの、無作為抽出による会議参加は進んでいない。 年度によって無作為抽出の適・不適があるのも実態であり、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていただきたい。				
Action		Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
これまでの方針を継続し、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。				これまでの方針を継続し、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	公募による会議などへの参加件数（件/年）	1	3	0	1	公募による会議などへの参加件数
施策と指標の関連性	町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2023	0	0	0	3	2	C	40%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2024	0	0	0	1	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2025	0	0		1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2026	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2027	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
単位		千円	千円	千円	件	件			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
各種審議会委員等の選出における公募の積極的な検討	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			条例周知 実施状況確認			条例周知					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	各課への周知等を行っているものの、公募による会議参加は進んでいない。 年度によって公募の適・不適があるのも実態であり、公募に適した会議体の際には今後も公募による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
これまでの方針を継続し、公募に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていききたい。	これまでの方針を継続し、公募に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていききたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課 広報広聴係							
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	広報広聴活動の拡充							
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。							
関係指標		指標名	前期 現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	後期 現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	内容		
		ふれあいトークへの参加人数（人/年）	-	300	56	300	ふれあいトークへの参加人数		
施策と指標の関連性		誰もがまちづくりの意見交換ができる場であるであるふれあいトークの参加人数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検 目標値 実績値 自己評価			目標達成率	内容
	2020	0	20	2	150	63	B	42%	・ふれあいトークの参加人数
	2021	0	5	3	200	20	D	10%	・ふれあいトークの参加人数
	2022	0	20	6	250	56	D	22%	・ふれあいトークの参加人数
	2023	0	20	2	300	46	D	15%	・ふれあいトークの参加人数
	2024	0	20	2	150	36	D	24%	・ふれあいトークの参加人数
	2025	0	20		200				・ふれあいトークの参加人数
	2026	0			250				・ふれあいトークの参加人数
	2027	0			300				・ふれあいトークの参加人数
	単位		千円	千円	千円	人	人		

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
ふれあいトークの周知			・広報誌、ホームページ、SNS、防災無線、地域マネージャーなどを通し周知を図る。							町長、地域マネージャー、企画課広報広聴係	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度について適宜周知											→
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				ふれあいトークへの参加人数を計上			日程の都合で実施できないこともあったが、カフェトーク1回、出前トーク2回開催し、前年の人数は上回らなかったものの参加人数としては概ね平年並みとなった。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）					Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
前年同様の周知方法を実施、開催回数も同様に計画。コロナ禍以降活動を制限している行政区も多い中、参加人数としては概ね平年並みとなった。			前年同様の周知方法を実施、開催回数も同様に計画。コロナ禍以降活動を制限している行政区も多い中、参加人数としては概ね平年並みとなった。					ふれあいトークの参加人数を実績値として計上する。			

		担当課・係	企画課 広報広聴係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	広報広聴活動の拡充							
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
			現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)			
		鹿追お知らせメール登録件数（件）	1,328	1,500	1,663	2,300	メール、LINE、アプリの登録総件数		
施策と指標の関連性		効果的、効率的な情報発信を行うために開始した、新たな情報発信ツール「鹿追お知らせメール」の利用者の登録件数を指標とした。							
					事業の点検			目標達成率	内容
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	1,400	1,663	A	119%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2023	0	0	0	1,500	1,933	A	129%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2024	0	0	0	2,000	2,395	A	120%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2025	0	0		2,100				メール、LINE、アプリの登録総件数
	2026	0			2,200				メール、LINE、アプリの登録総件数
	2027	0			2,300				メール、LINE、アプリの登録総件数
単位		千円	千円	千円	件	件			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
鹿追お知らせメール登録の周知			・広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知を図る。							企画課、各課、地域マネージャー	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加入促進を 適宜周知											→
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				鹿追お知らせメールの登録者数(メール・LINE・mishika)を計上			お知らせメールの利便性が利用者に浸透した点や、高齢者スマホ教室などにより広く周知を行ったことから目標値を上回ることができた。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）					Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。			引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。					メール、LINE、アプリの総登録件数を実績値として計上する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	行政区支援事業への参加件数（件/年）	24	35	8	35	行政区支援事業への参加件数
施策と指標の関連性	地域の課題を地域の力で解決できるようになるために実施する、行政区支援事業への参加券数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	0	763	422	25	8	C	32%	・行政区支援事業への参加件数
	2021	0	778	441	28	8	C	29%	・行政区支援事業への参加件数
	2022	0	3,000	282	30	8	C	27%	・行政区支援事業への参加件数
	2023	0	2,500	710	35	10	D	29	・行政区支援事業への参加件数
	2024	0	2,500	828	25	12	C	48%	・行政区支援事業への参加件数
	2025	0	1,500		28				・行政区支援事業への参加件数
	2026	0			30				・行政区支援事業への参加件数
	2027	0			35				・行政区支援事業への参加件数
単位		千円	千円	千円	件	件			

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内会（地域のつながり）の大切さを啓発	・広報誌や行政区長会議などを通し啓発を図る。	企画課広報広聴係

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜啓発											→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動助成事業を実施する行政区数を計上	前年参加されていない行政区も参加したことあり、前年よりも多い12行政区が活動を実施した。また、コロナ禍以降参加件数が最多となった。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
令和5年度に制度改定を実施、申請条件などの見直しを行っており、継続して行政区支援を行っている。行政区活動の再開も徐々に増えてきており、制度利用の増加を見込んでいる。	令和5年度に制度改定をし、申請条件などの見直しを行っており、継続して行政区支援を行っている。行政区活動の再開も徐々に増えてきており、制度利用の増加を見込んでいる。	地域のつながり活動助成事業の利用数を実績値として計上する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数（回/年）	14	20	14	20	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
施策と指標の関連性	地域の課題解決のために実施する、職員等による、役場の新規事業や防災・防犯についての出前講座や勉強会の開催回数を指標とした。					

評価総括表	事業の点検				目標達成率		内容	
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値		
	2020	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	15	14	A	93% 職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2023	0	0	0	20	13	B	65% 職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2024	0	0	0	15	16	A	107% 職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2025	0	0		15			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2026	0			20			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2027	0			20			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
単位		千円	千円	千円	回	回		

2024（R6）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
つながり活動事業などを通し周知	広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知。	企画課 各課 地域マネージャー など

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜周知											→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動実績報告書に基づく職員の出前講座の実施回数	活動を実施する行政区が徐々に増えてきた中で、幅広く講座を開催することができ、前年以上に開催することができた。

Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
今後も各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。	今後各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。	地域のつながり活動実績報告に基づき職員の出前講座等の実施回数を計上する。